

## 第3章

# 住民アンケート結果報告書

## 目次

I 調査概要.....	3-3
1 目的.....	3-3
2 調査対象.....	3-3
3 調査期間.....	3-3
4 調査方法.....	3-3
5 調査内容.....	3-3
6 回収数.....	3-3
II 調査結果.....	3-4
1 回答者の属性.....	3-4
2 まちへの愛着や定住意向.....	3-9
3 まちのイメージ.....	3-24
4 まちづくりの満足度・重要度.....	3-28
5 今後のまちづくりで大切なこと.....	3-33
6 地域活性化に向けた取り組みについて.....	3-43
7 自由意見.....	3-55

## I 調査概要

### 1 目的

町政運営の基本となるまちの将来像を明らかにし、これを達成するための基本方針を示す計画（総合計画）の見直しに当たり、町内住民に対して、アンケート調査を行い、その調査結果を次期総合計画「第6次総合計画」の策定に活用することを目的とする。

### 2 調査対象

久御山町内に居住する満 18 歳以上（基準日：令和 6 年 7 月 1 日）の方の中から、住民基本台帳をもとに無作為抽出した 2,500 人

### 3 調査期間

令和 6 年 7 月 22 日から 8 月 13 日

### 4 調査方法

郵便配布、郵便回収により実施（Web 回答併用）

### 5 調査内容

項目	内容
回答者の属性	年齢、職業、通勤・通学先の所在地、居住地、家族構成
まちの愛着や定住意向	久御山町への愛着、久御山町への在住歴、久御山町への定住意向、久御山町の住みやすいところ
まちのイメージ	久御山町といえば思い浮かべるもの
まちづくりの満足度・重要度	町の施策の満足度と今後の重要度
今後のまちづくり	久御山町の安心・安全の評価、10 年後の久御山町
地域の活性化に向けた取組	新型コロナウイルスまん延後に参加経験のあるイベント、新型コロナウイルスまん延前に参加経験のあるイベント、参加しなくなった理由、今後必要な取り組み
自由意見	自由回答

### 6 回答数

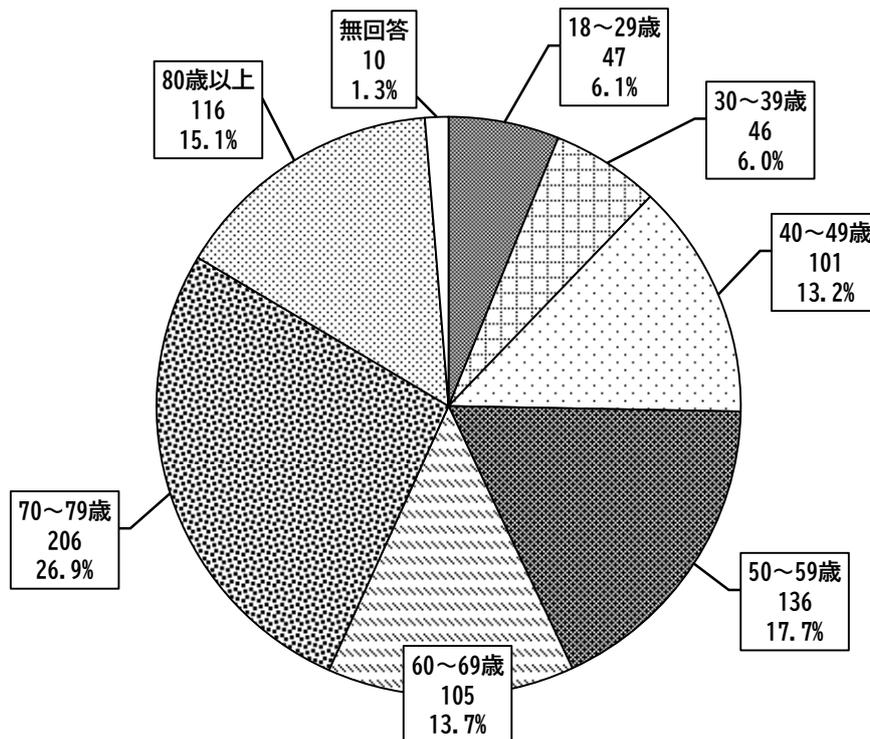
	配布数	回答数	有効回収数	有効回収率
全体	2,500	767	767	30.7%

## Ⅱ 調査結果

### 1 回答者の属性

問1 あなたの年齢を選んでください

- ・ 「70～79歳」が26.9%と最も高く、次いで「50～59歳」が17.7%を占めています。「30～39歳」は6.0%で最も低くなっています。

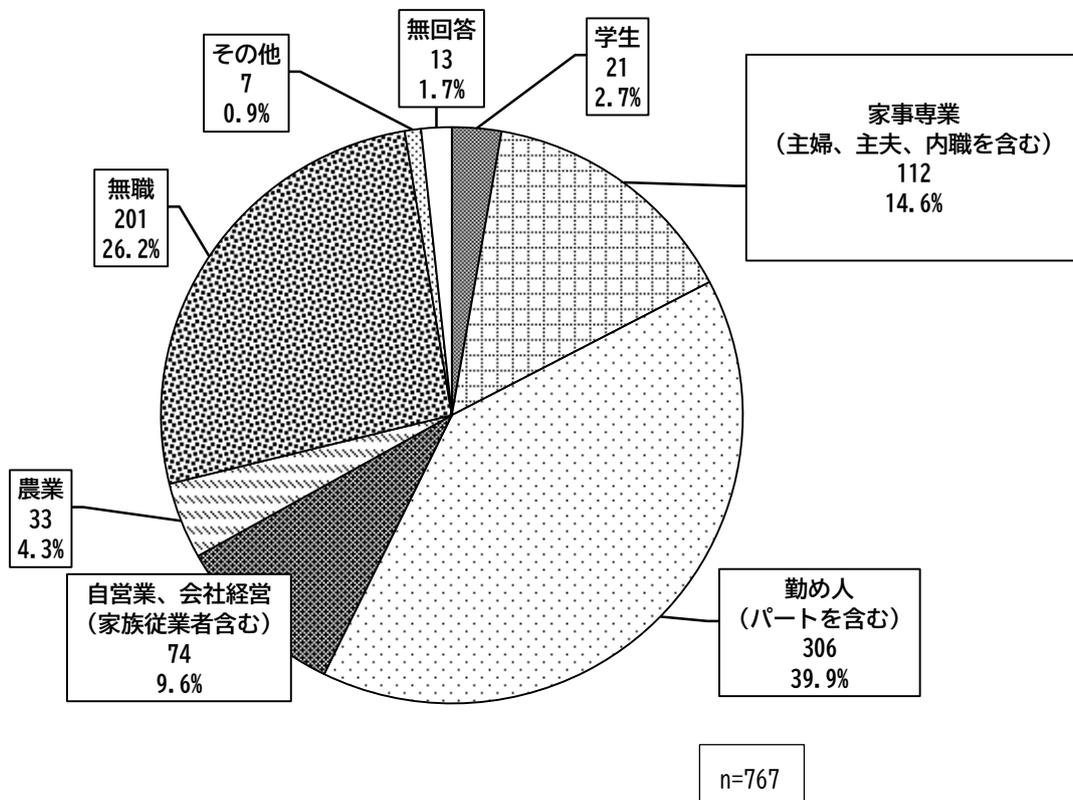


n=767

No.	選択肢	回答数(n=767)	割合(%)
1	18～29歳	47	6.1
2	30～39歳	46	6.0
3	40～49歳	101	13.2
4	50～59歳	136	17.7
5	60～69歳	105	13.7
6	70～79歳	206	26.9
7	80歳以上	116	15.1
	無回答	10	1.3
	計(回答総数)	767	100.0

問2 あなたの職業を選んでください。

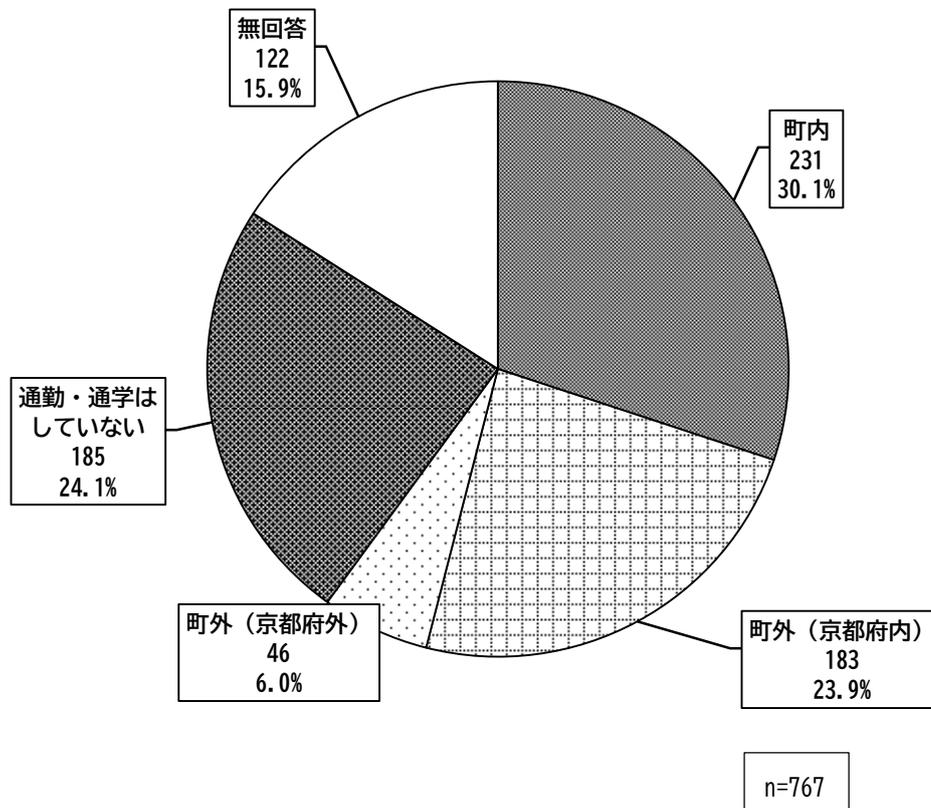
- ・ 「勤め人（パートを含む）」が39.9%と最も高く、次いで「無職」が26.2%、「家事専業（主婦、主夫、内職を含む）」が14.6%を占めています。



No.	選択肢	回答数 (n=767)	割合 (%)
1	学生	21	2.7
2	家事専業 (主婦、主夫、内職を含む)	112	14.6
3	勤め人 (パートを含む)	306	39.9
4	自営業、会社経営 (家族従業者含む)	74	9.6
5	農業	33	4.3
6	無職	201	26.2
7	その他	7	0.9
	無回答	13	1.7
	計 (回答総数)	767	100.0

問3 あなたの通勤・通学先の所在地について選んでください。

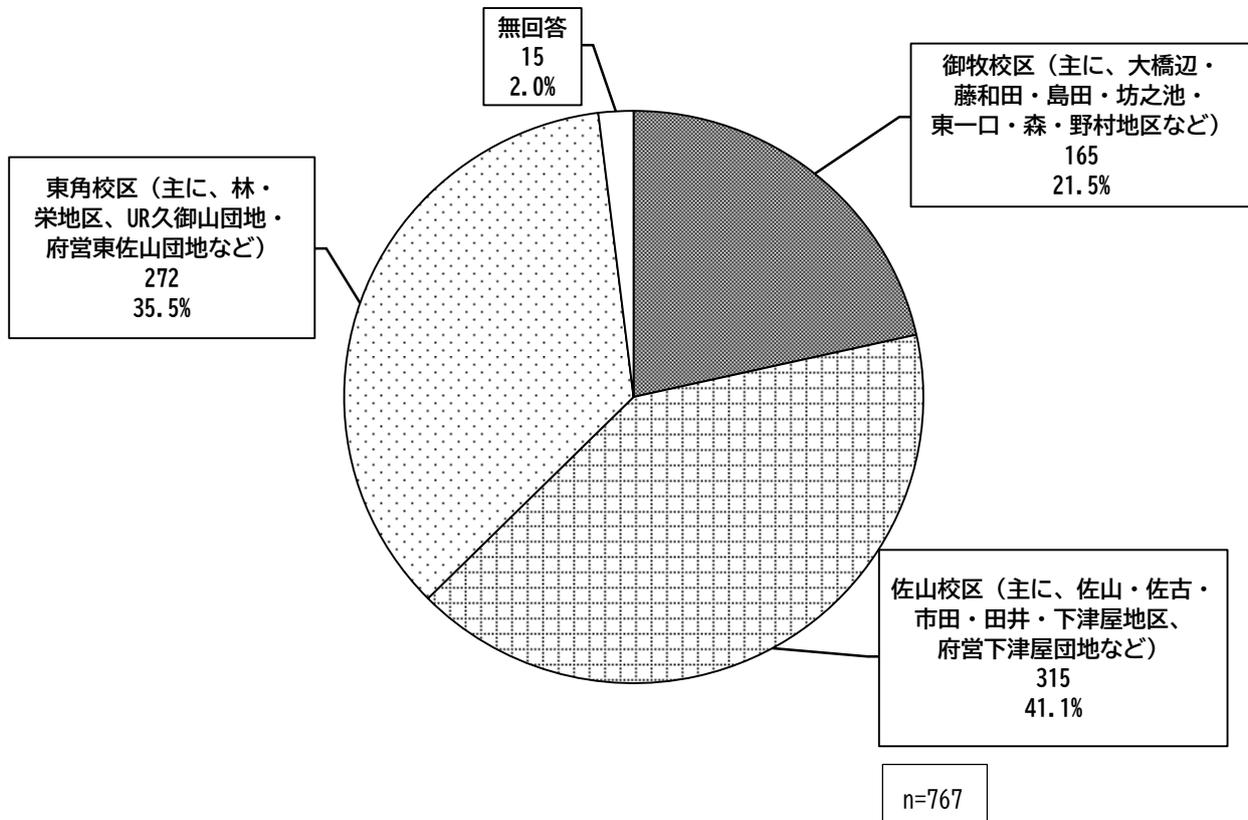
- ・ 「町内」の回答が30.1%と最も多く、次いで「通勤・通学はしていない」が24.1%、「町外（京都府内）」が23.9%を占めています。



No.	選択肢	回答数 (n=767)	割合 (%)
1	町内	231	30.1
2	町外 (京都府内)	183	23.9
3	町外 (京都府外)	46	6.0
4	通勤・通学はしていない	185	24.1
	無回答	122	15.9
	計 (回答総数)	767	100.0

問4 あなたのお住まいについて選んでください。

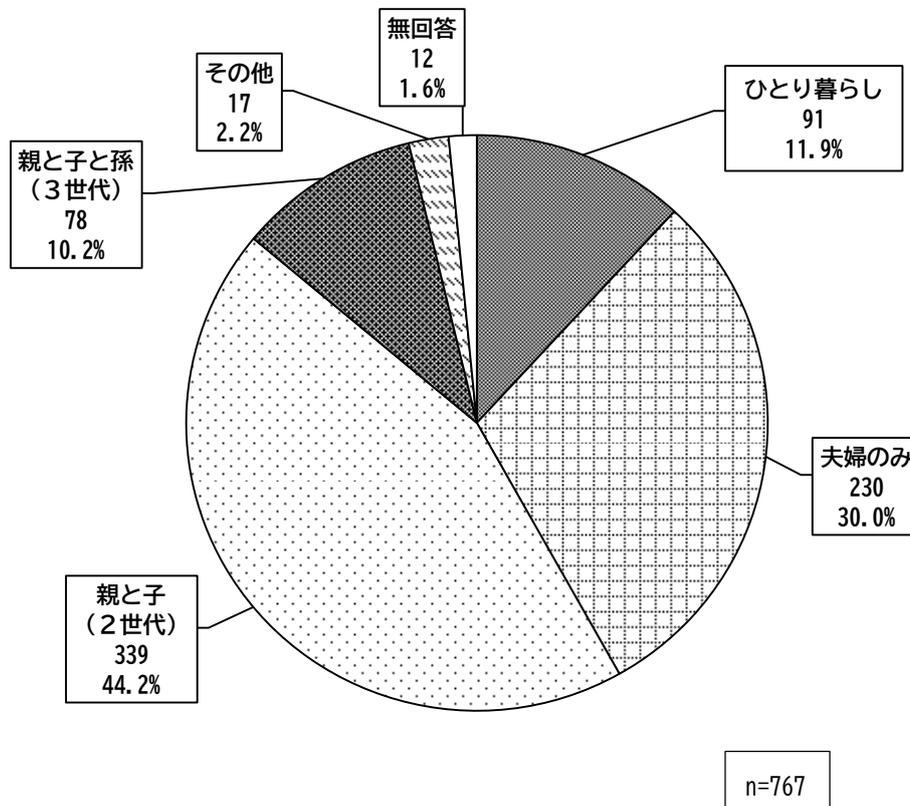
- ・ 「佐山校区」が41.1%と最も高く、「東角校区」は35.5%、「御牧校区」は21.5%を占めています。



No.	選択肢	回答数(n=767)	割合(%)
1	御牧校区 (主に、大橋辺・藤和田・島田・坊之池・東一口・森・野村地区など)	165	21.5
2	佐山校区 (主に、佐山・佐古・市田・田井・下津屋地区、府営下津屋団地など)	315	41.1
3	東角校区 (主に、林・栄地区、UR久御山団地・府営東佐山団地など)	272	35.5
	無回答	15	2.0
	計 (回答総数)	767	100.0

問5 あなたの家族構成（世帯）について選んでください。

- ・ 「親と子（2世代）」の回答が44.2%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が30.0%、「ひとり暮らし」が11.9%を占めています。

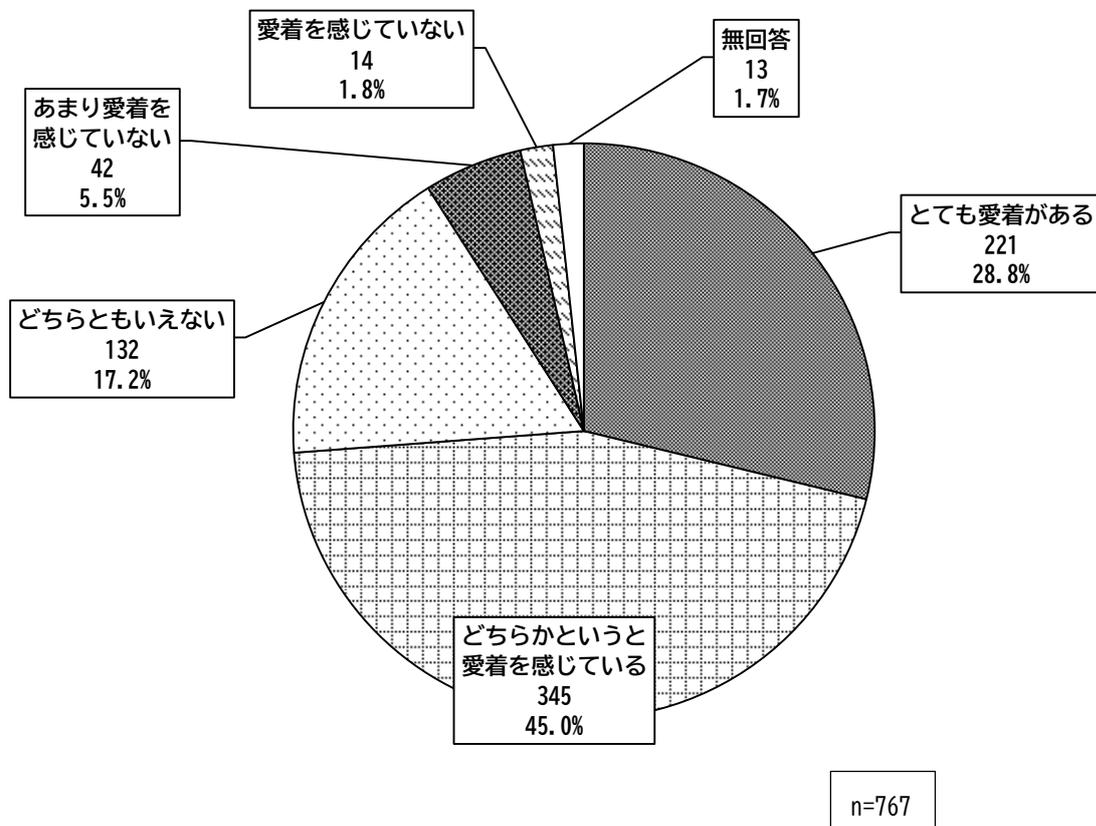


No.	選択肢	回答数 (n=767)	割合 (%)
1	ひとり暮らし	91	11.9
2	夫婦のみ	230	30.0
3	親と子 (2世代)	339	44.2
4	親と子と孫 (3世代)	78	10.2
5	その他	17	2.2
	無回答	12	1.6
	計 (回答総数)	767	100.0

## 2 まちへの愛着や定住意向

問6 あなたは、久御山町に愛着を感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

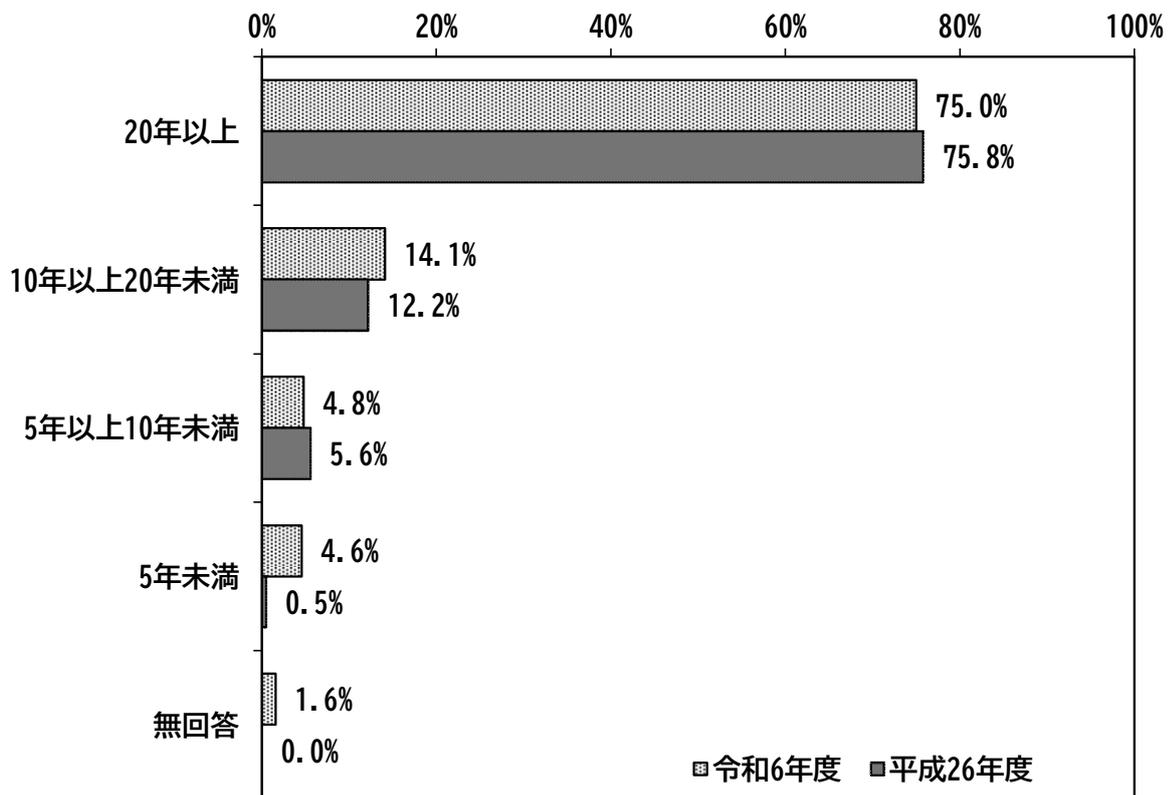
- ・ 「とても愛着がある」「どちらかというと愛着を感じている」の回答が合計73.8%となりました。



No.	選択肢	回答数 (n=767)	割合 (%)
1	とても愛着がある	221	28.8
2	どちらかというと愛着を感じている	345	45.0
3	どちらともいえない	132	17.2
4	あまり愛着を感じていない	42	5.5
5	愛着を感じていない	14	1.8
	無回答	13	1.7
	計 (回答総数)	767	100.0

問7 あなたは、久御山町にお住まいになってどれくらいたちますか。あてはまるものを1つ選んでください。

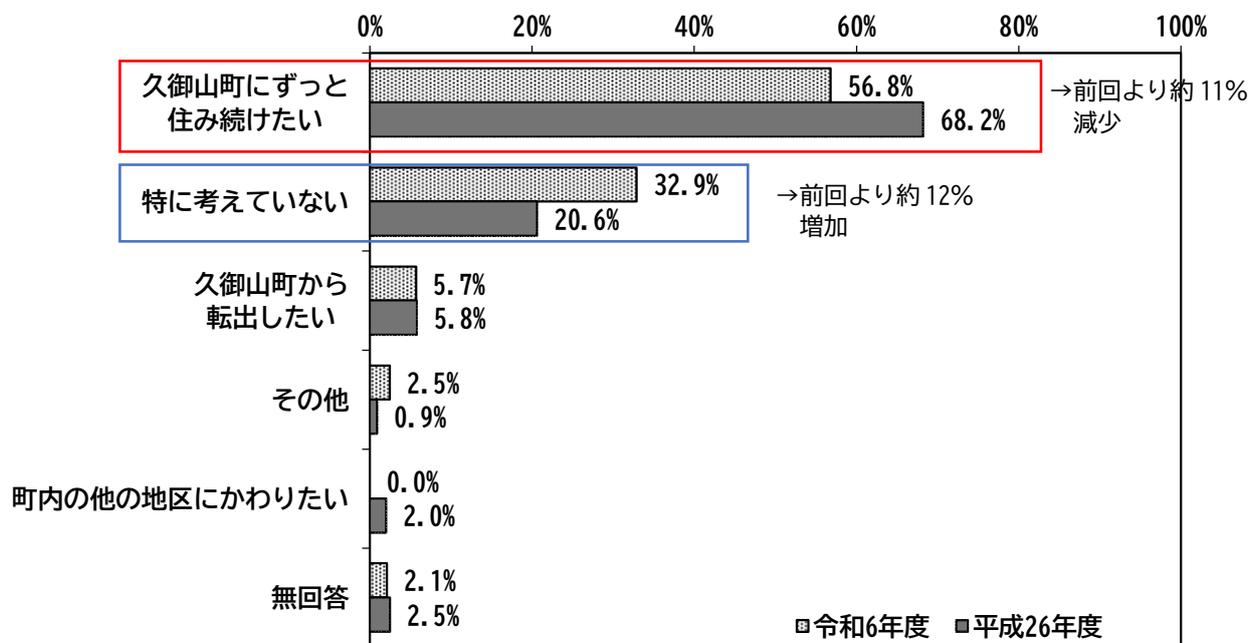
- ・ 「20年以上」が75.0%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が14.1%、「5年以上10年未満」が4.8%を占めています。
- ・ 前回アンケートと比較すると、「20年以上」の割合に変化はなく、他の割合にも大きな変化は見られません。



No.	選択肢	令和6年度		平成26年度	
		回答数 (n=767)	割合 (%)	回答数 (n=913)	割合 (%)
1	5年未満	35	4.6	59	0.5
2	5年以上10年未満	37	4.8	51	5.6
3	10年以上20年未満	108	14.1	111	12.2
4	20年以上	575	75.0	692	75.8
	無回答	12	1.6	0	0.0
	計(回答総数)	767	100.0	913	100.0

問8 あなたはこれからも久御山町に住み続けたいと思いますか。

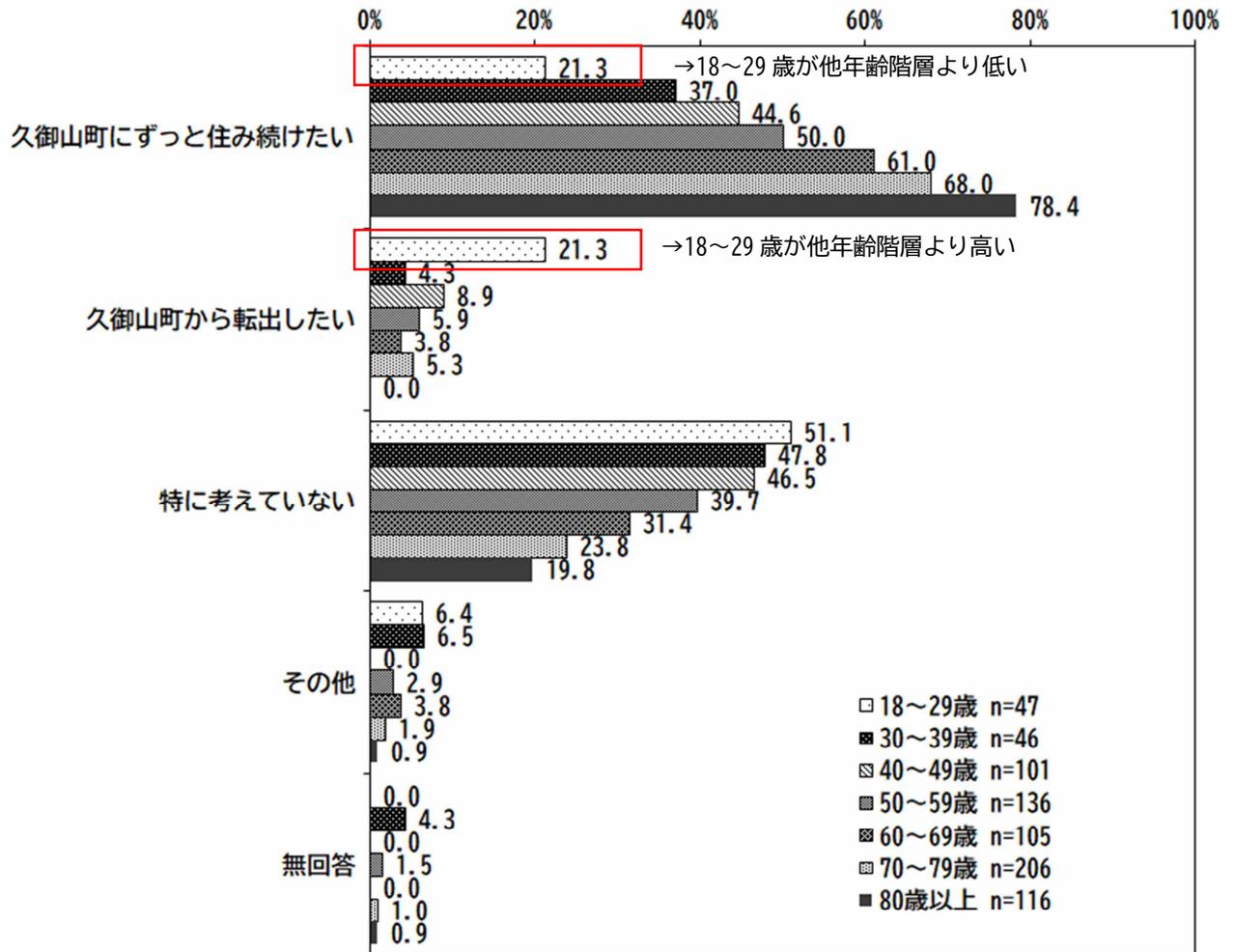
- ・ 「久御山町にずっと住み続けたい」の回答が56.8%と最も多く、次いで、「特に考えていない」が32.9%、「久御山町から転出したい」が5.7%となりました。
- ・ 前回アンケートと比較すると、「久御山町にずっと住み続けたい」が約11%減少し、「特に考えていない」が約12%増加しています。



No.	選択肢	令和6年度		平成26年度	
		回答数 (n=767)	割合 (%)	回答数 (n=913)	割合 (%)
1	久御山町にずっと住み続けたい	436	56.8	623	68.2
2	久御山町から転出したい	44	5.7	18	5.8
3	町内の他の地区にかわりたい	0	0	53	2.0
4	特に考えていない	252	32.9	188	20.6
5	その他	19	2.5	8	0.9
	無回答	16	2.1	213	2.5
	計 (回答総数)	767	100.0	913	100.0

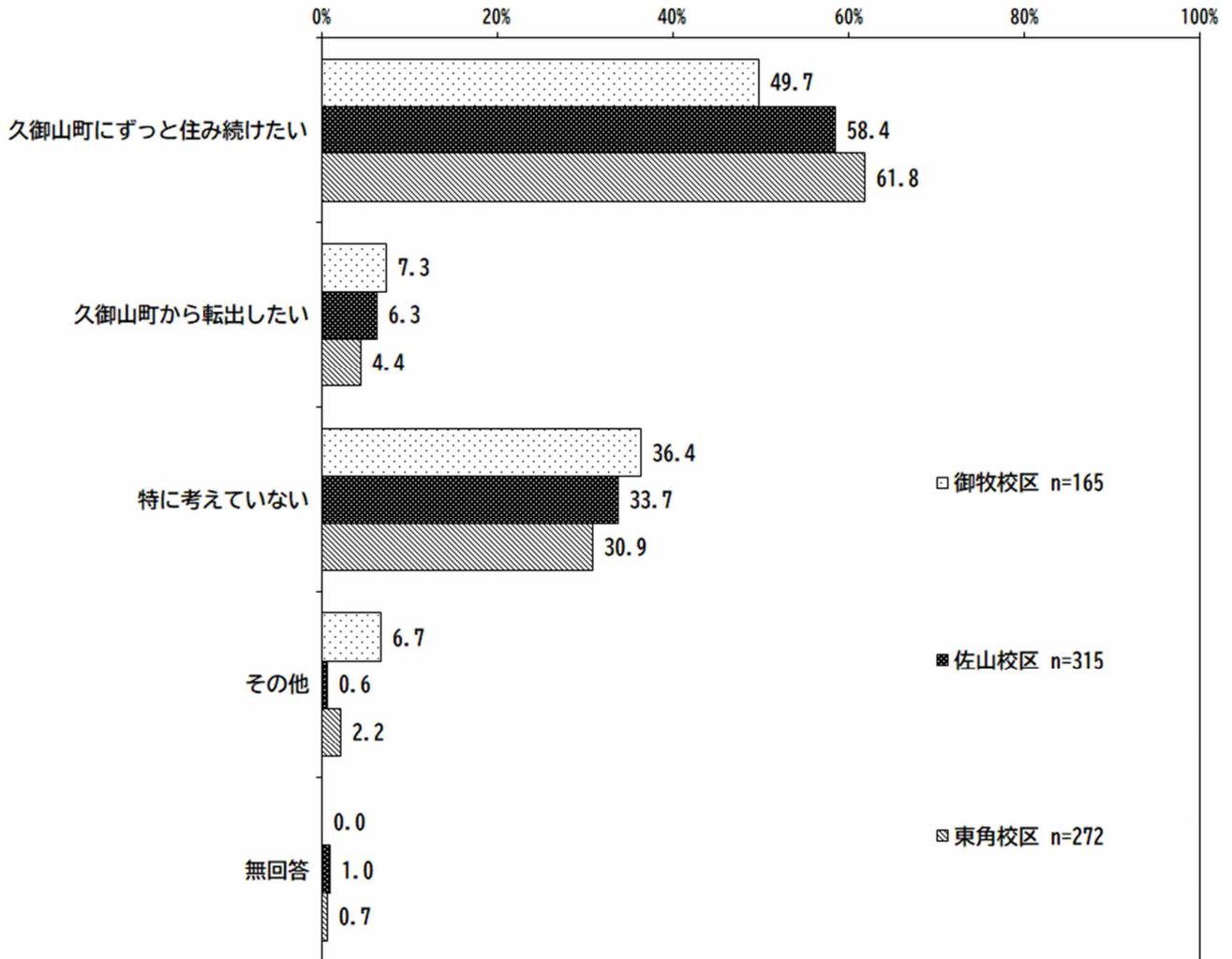
久御山町への定住意向（年齢別集計）

- ・ 18～29歳では、「久御山町から転出したい」及び「特に考えていない」が他年齢階層より高くなっています。
- ・ 80歳以上では、「久御山町にずっと住み続けたい」が8割近くを占めており、他年齢階層より高くなっています。



久御山町への定住意向（居住地別集計）

- ・ 東角校区では、「久御山町にずっと住み続けたい」が6割以上と他の校区より高くなっています。
- ・ 御牧校区では「久御山町から転出したい」及び「特に考えていない」が他の校区よりもより高くなっています。



問9 あなたが思う久御山町の住みやすいところ（あるいは住み続けたいと思う理由）、住みにくいところ（あるいは転出したいと思う理由）について、それぞれ特にあてはまるものを3つまで選んでください。

住みやすいところ（住み続けたい理由）

- ・ 住みやすいところ（住み続けたい理由）を聞いたところ、「住環境がよい」が35.6%と最も高く、次いで「医療や福祉サービスや拠点が充実」が30.8%、「買物が便利」が29.6%を占めています。

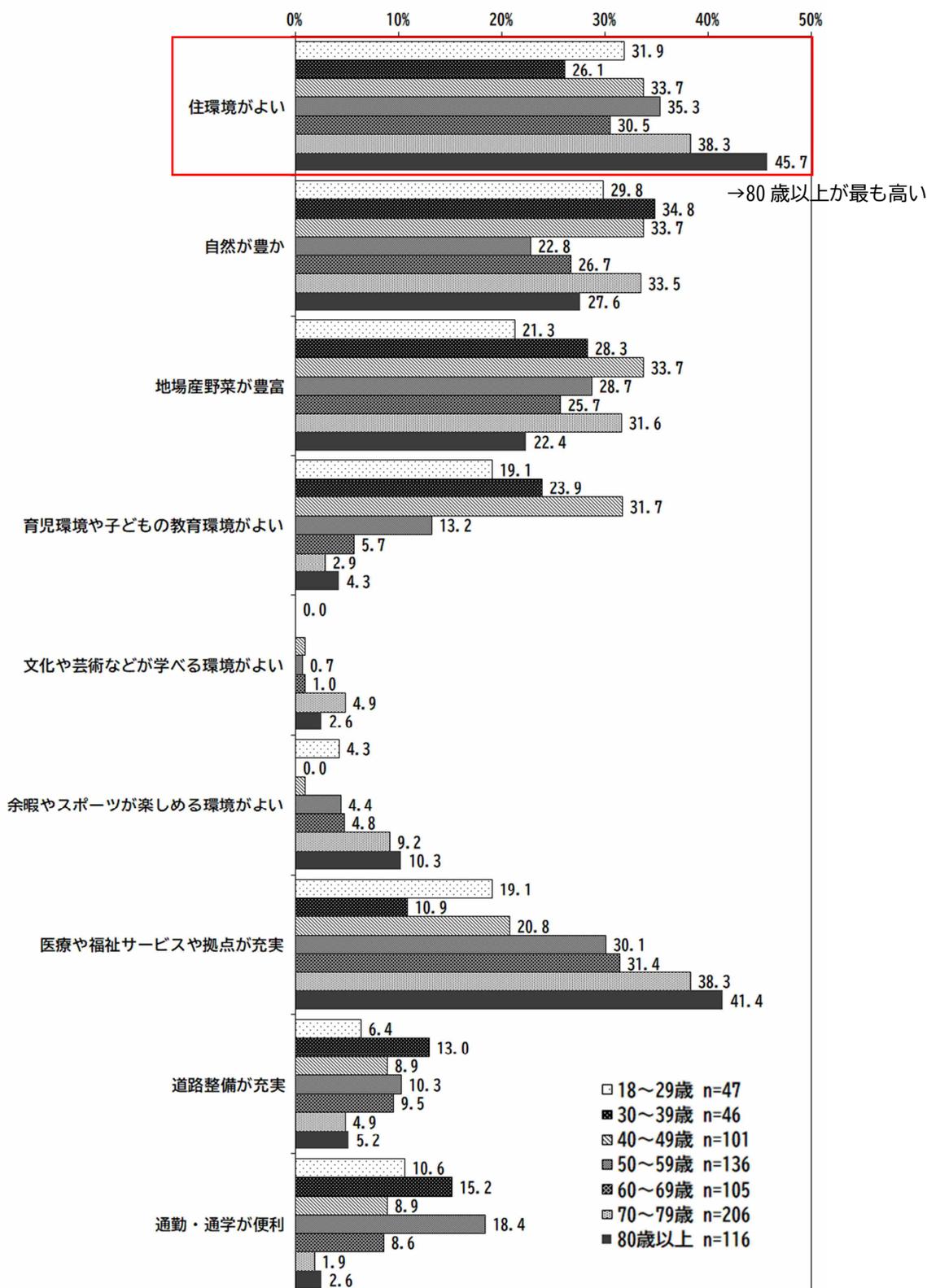
順位	No.	選択肢	令和6年度	
			回答数 (n=767)	割合 (%)
1	1	住環境がよい	273	35.6
2	7	医療や福祉サービスや拠点が充実	236	30.8
3	10	買物が便利	227	29.6
4	2	自然が豊か	224	29.2
5	3	地場産野菜が豊富	214	27.9
6	14	治安（防犯）や災害の不安が小さい	172	22.4
7	4	育児環境や子どもの教育環境がよい	87	11.3
8	16	行政サービスが充実	83	10.8
9	13	近所づきあいが充実	74	9.6
10	9	通勤・通学が便利	62	8.1
11	8	道路整備が充実	58	7.6
12	6	余暇やスポーツが楽しめる環境がよい	45	5.9
13	11	働きたい職場がたくさんある	19	2.5
14	5	文化や芸術などが学べる環境がよい	16	2.1
15	12	商売や事業がしやすい	6	0.8
16	15	地球環境への配慮や取組が充実	5	0.7
17	17	その他	13	1.7
		無回答	60	7.8

(参考 平成 26 年度調査結果 ※選択肢が異なります。また、回答は最も大きな理由を 1 つ選択。)

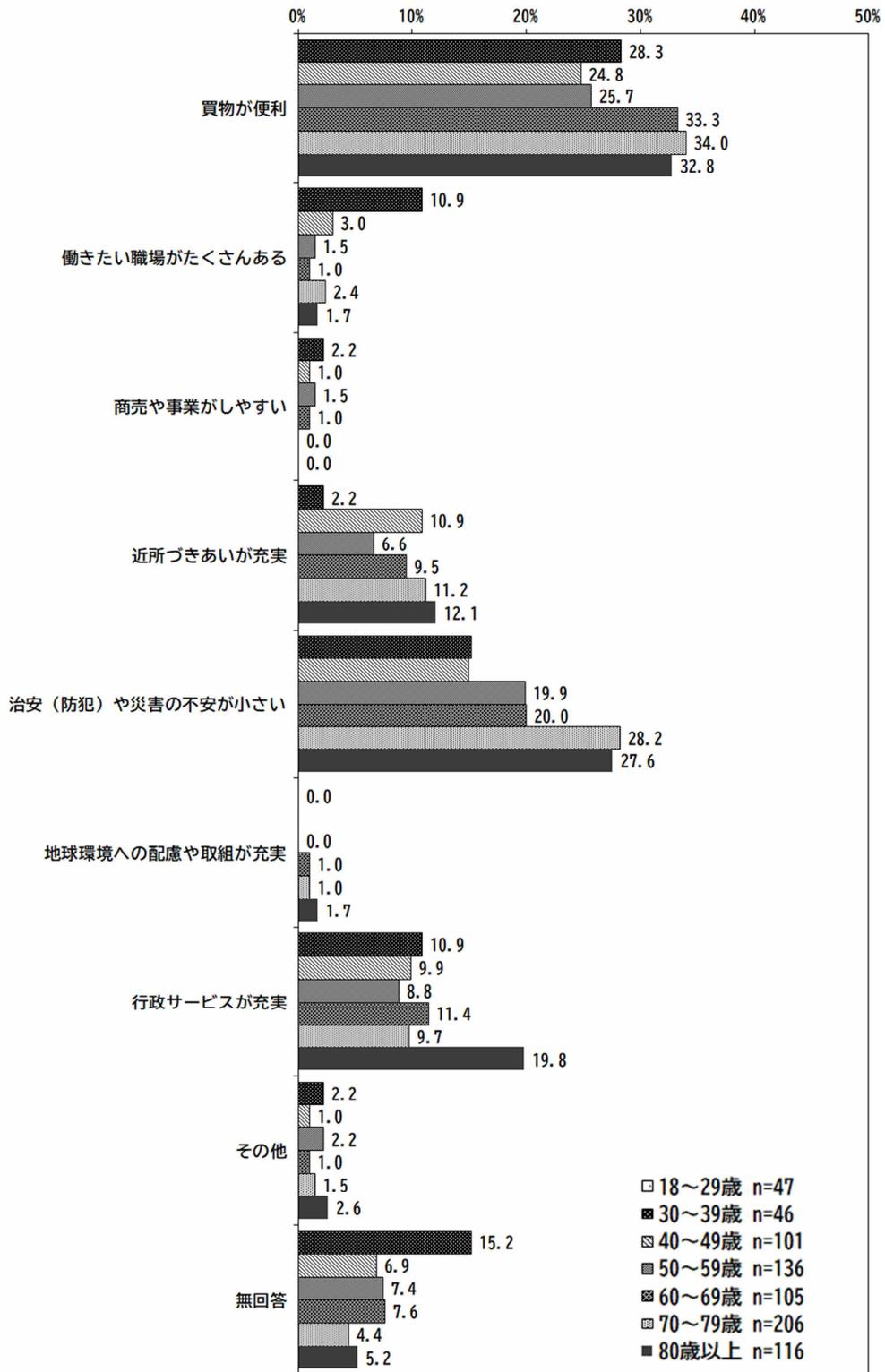
順位	No.	選択肢	平成26年度	
			回答数 (n=623)	割合 (%)
1	1	住宅に満足しているから (住宅を購入した、手頃な家賃)	161	25.8
2	5	住環境がよい	90	14.4
3	12	まち(地域)に愛着を持っているから	88	14.1
4	9	家庭や仕事の都合で	82	13.2
5	10	近所づきあいが充実	37	5.9
6	3	買物が便利	32	5.1
7	13	医療や福祉サービスや拠点が充実	31	4.7
8	7	自然が豊か	29	3.5
9	6	通勤・通学が便利	22	3.5
10	2	治安(防犯)や災害の不安が小さい	22	2.6
11	11	育児環境や子どもの教育環境がよい	16	1.3
12	8	余暇やスポーツが楽しめる環境がよい	8	0.6
13	4	その他	4	5.0
		無回答	1	0.2

住みやすいところ（住み続けたい理由）（年齢別集計）

- 80歳以上では、「住環境がよい」及び「医療や福祉サービスや拠点が充実」が4割以上を占めており、他年齢階層より高くなっています。

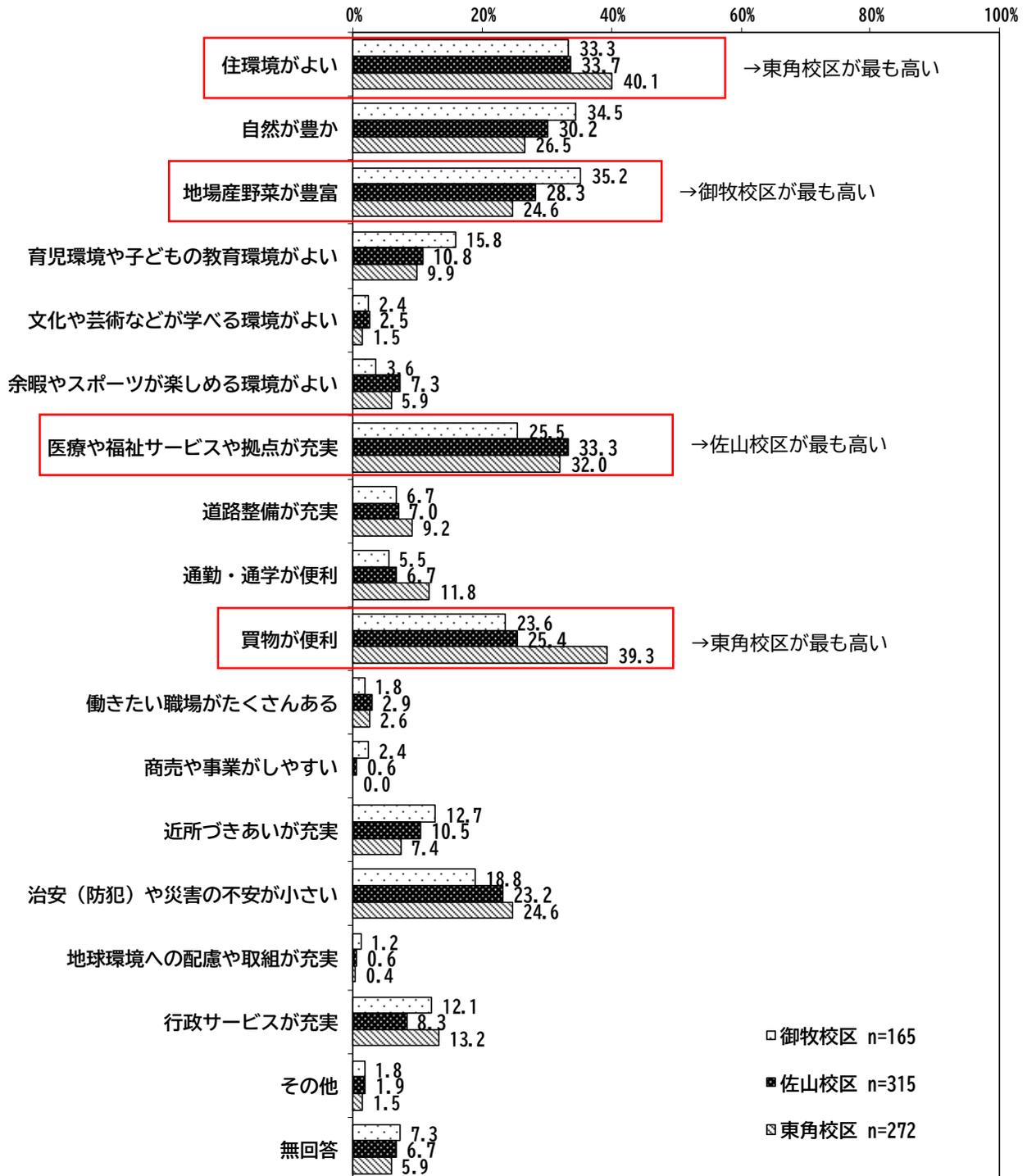


(次ページに続く)



住みやすいところ（住み続けたい理由）（居住地別集計）

- ・ 東角校区では、「住環境がよい」及び「買物が便利」がそれぞれ約4割と他の校区より高くなっています。
- ・ 佐山校区では、「医療や福祉サービスの拠点が充実」が33.3%と他の校区よりもより高くなっています。
- ・ 御牧校区では「地場産野菜が豊富」35.2%と他の校区よりもより高くなっています。



住みにくいところ（転出したいと思う理由）

- ・ 住みにくいところ（転出したいと思う理由）を聞いたところ、「通勤・通学が不便」が36.2%と最も高く、次いで「買物が不便」が21.8%、「道路整備が不十分」が18.3%を占めています。

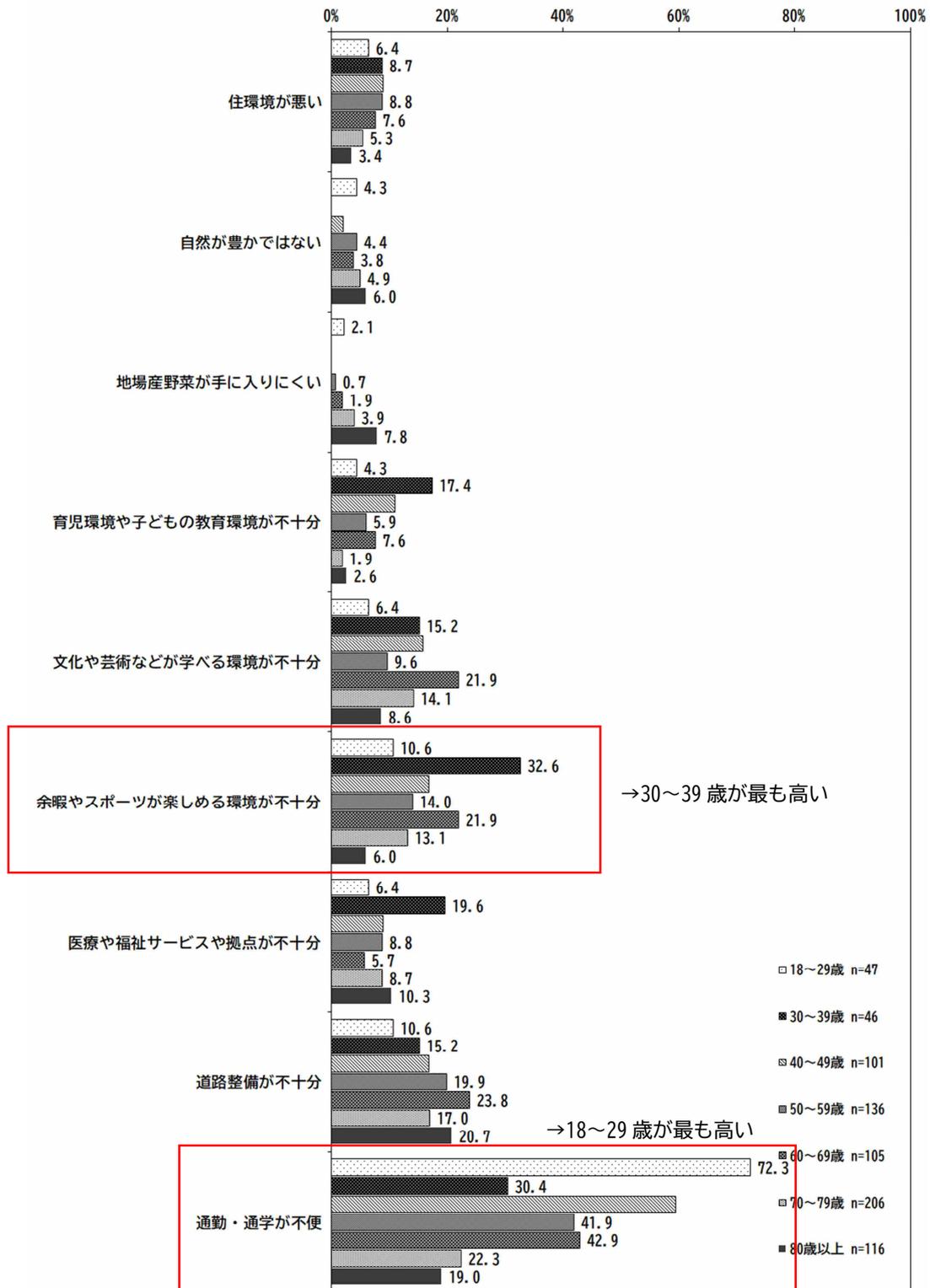
順位	No.	選択肢	令和6年度	
			回答数(n=767)	割合(%)
1	9	通勤・通学が不便	278	36.2
2	10	買物が不便	167	21.8
3	8	道路整備が不十分	140	18.3
4	6	余暇やスポーツが楽しめる環境が不十分	113	14.7
5	5	文化や芸術などが学べる環境が不十分	101	13.2
5	14	治安（防犯）や災害の不安が大きい	101	13.2
7	13	近所づきあいがしにくい	83	10.8
8	7	医療や福祉サービスや拠点が不十分	69	9.0
9	16	行政サービスが不十分	63	8.2
10	1	住環境が悪い	51	6.6
11	11	働きたい職場がない	45	5.9
12	4	育児環境や子どもの教育環境が不十分	44	5.7
13	2	自然が豊かではない	31	4.0
14	15	地球環境への配慮や取組が不十分	24	3.1
15	12	商売や事業がしにくい	22	2.9
16	3	地場産野菜が手に入りにくい	21	2.7
17	17	その他	22	2.9
		無回答	156	20.3

(参考 平成 26 年度調査結果 ※選択肢が異なります。また、回答は最も大きな理由を 1 つ選択。)

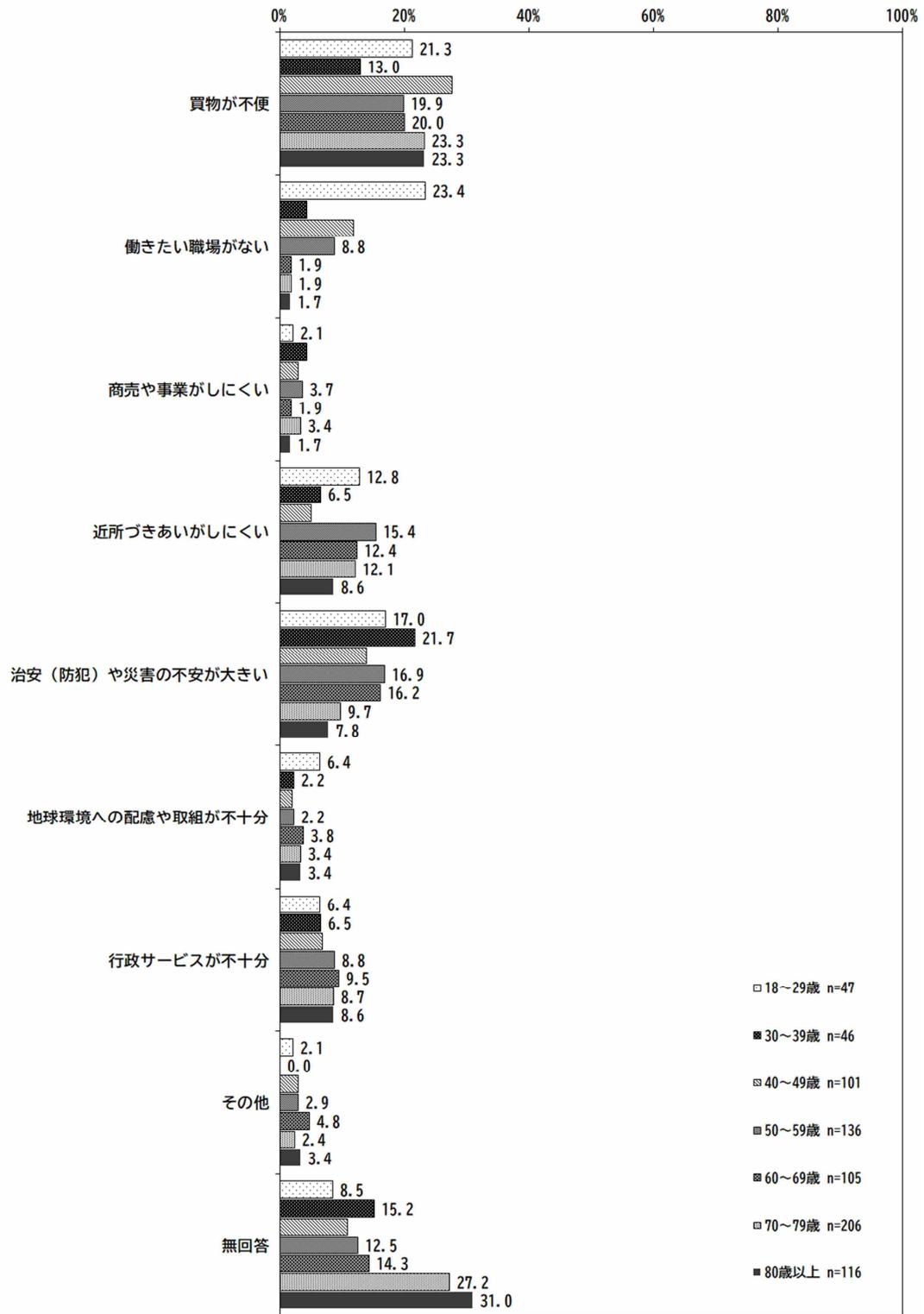
順位	No.	選択肢	平成26年度	
			回答数 (n=71)	割合 (%)
1	5	住環境が悪い	13	18.3
2	2	通勤・通学が不便	10	14.1
3	12	まち（地域）に愛着を持ってないから	8	11.3
4	7	医療や福祉サービスや拠点が不十分	6	8.5
5	1	周りや町内に適当な住宅がないから (住宅購入、手頃な家賃)	5	7.0
6	11	治安（防犯）や災害の不安が大きい	4	5.6
6	9	家庭や仕事の都合で	4	5.6
8	3	買物が不便	3	4.2
8	10	近所づきあいがしにくい	3	4.2
8	8	育児環境や子どもの教育環境が不十分	3	4.2
8	6	自然が豊かではない	3	4.2
12	4	余暇やスポーツが楽しめる環境が不十分	2	2.8
13	13	その他	7	9.9

住みにくいところ（転出したいと思う理由）（年齢別集計）

- 18～29歳では、「通勤・通学が不便」が72.3%と他年齢階層より高くなっています。
- 30～39歳では、「余暇やスポーツが楽しめる環境が不十分」が32.6%を占めており、他年齢階層より高くなっています。

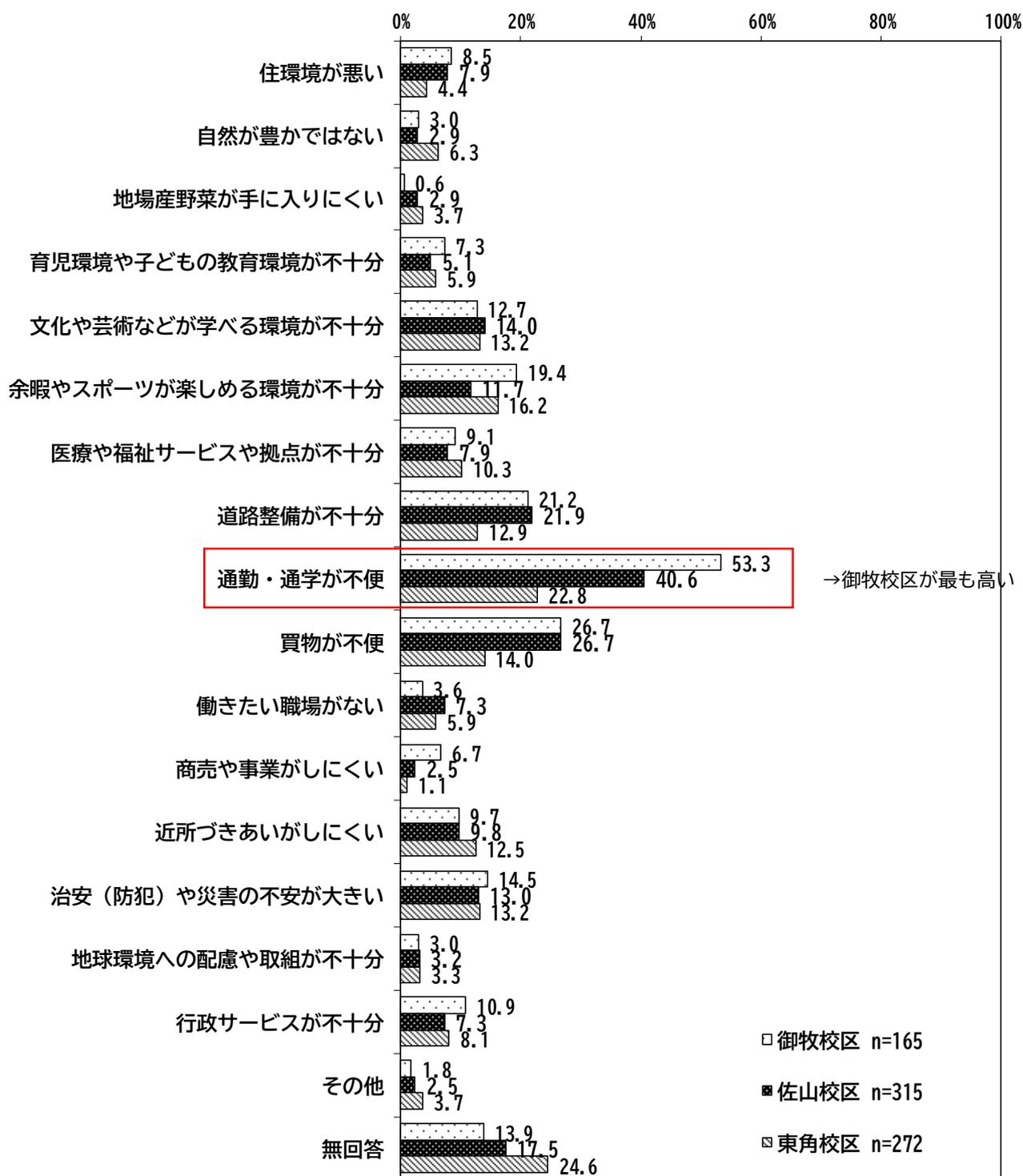


（次ページに続く）



住みにくいところ（転出したいと思う理由）（居住地別集計）

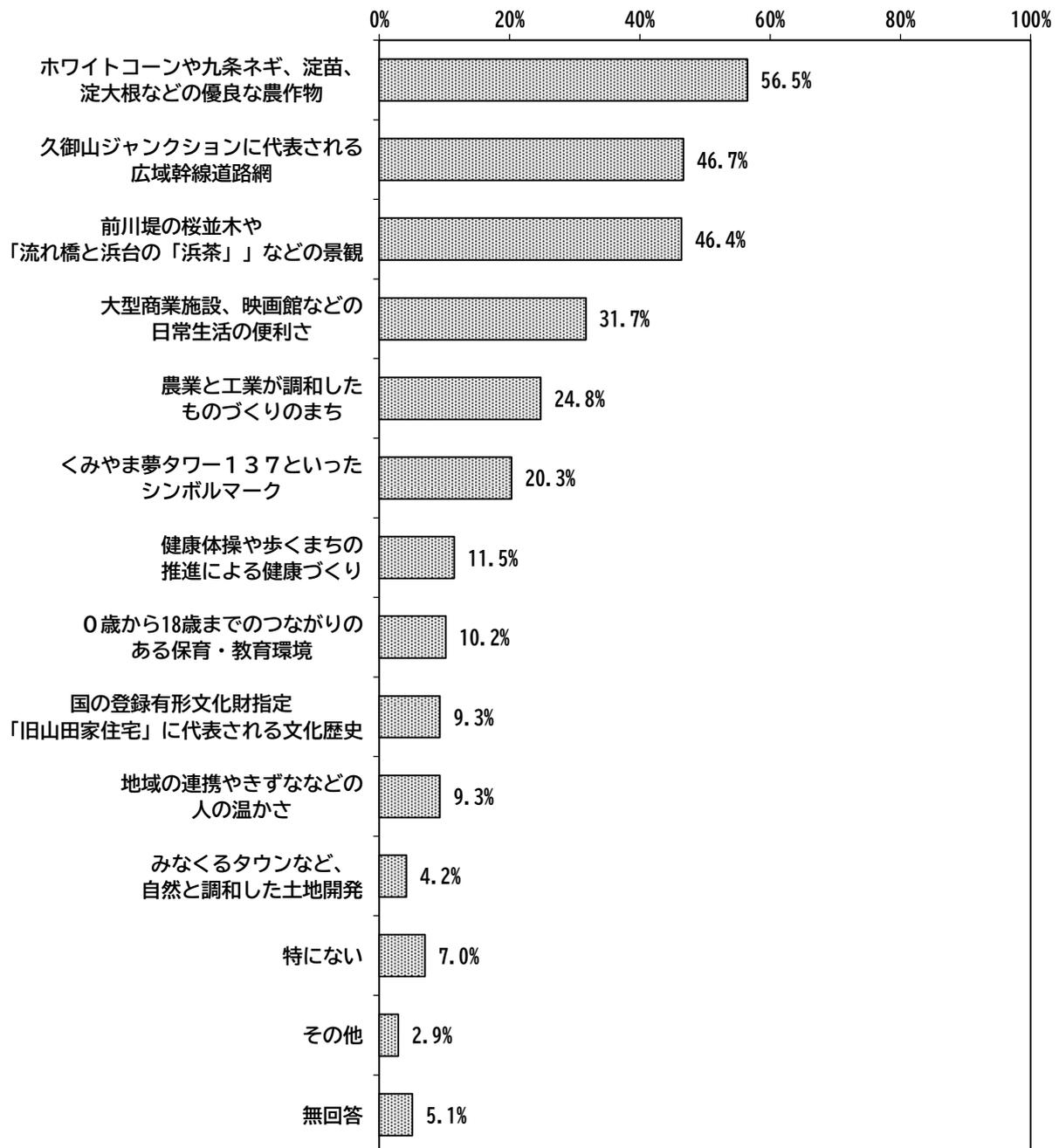
- 御牧校区では「通勤・通学が不便」が53.3%と他の校区よりもより高くなっています。



### 3 まちのイメージ

問10 あなたが考える「久御山町」といえば思い浮かべるモノ・コトはなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

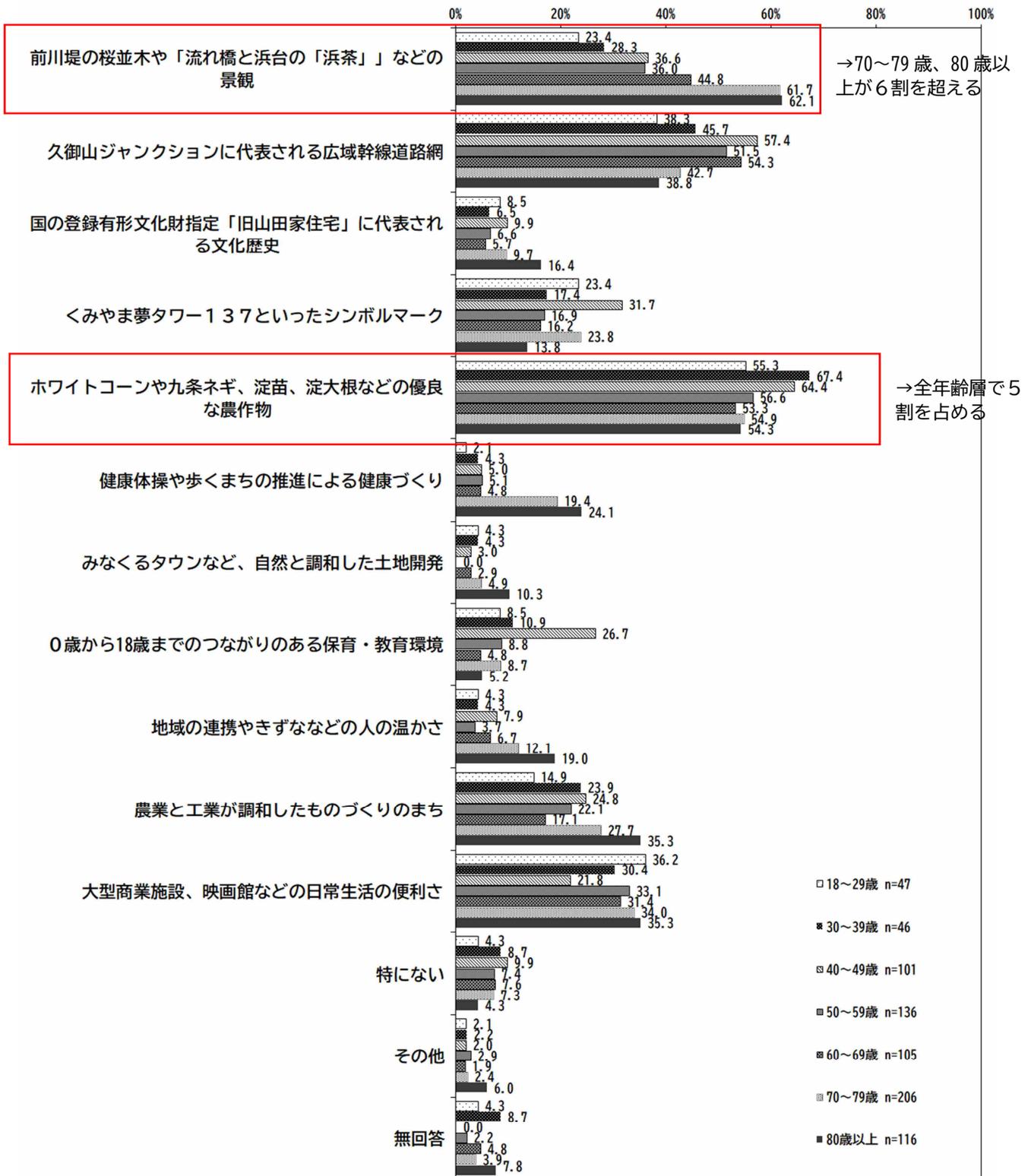
- ・ 「ホワイトコーンや九条ネギ、淀苗、淀大根などの優良な農作物」の回答が56.5%と最も多く、次いで「久御山ジャンクションに代表される広域幹線道路網」が46.7%、「前川堤の桜並木や「流れ橋と浜台の「浜茶」」などの景観」が46.4%となりました。



No.	選択肢	回答数(n=767)	割合(%)
1	前川堤の桜並木や「流れ橋と浜台の「浜茶」」などの景観	356	46.4
2	久御山ジャンクションに代表される広域幹線道路網	358	46.7
3	国の登録有形文化財指定「旧山田家住宅」に代表される文化歴史	71	9.3
4	くみやま夢タワー137といったシンボルマーク	156	20.3
5	ホワイトコーンや九条ネギ、淀苗、淀大根などの優良な農作物	433	56.5
6	健康体操や歩くまちの推進による健康づくり	88	11.5
7	みなくるタウンなど、自然と調和した土地開発	32	4.2
8	0歳から18歳までのつながりのある保育・教育環境	78	10.2
9	地域の連携やきずななどの人の温かさ	71	9.3
10	農業と工業が調和したものづくりのまち	190	24.8
11	大型商業施設、映画館などの日常生活の便利さ	243	31.7
12	特にない	54	7.0
13	その他	22	2.9
	無回答	39	5.1

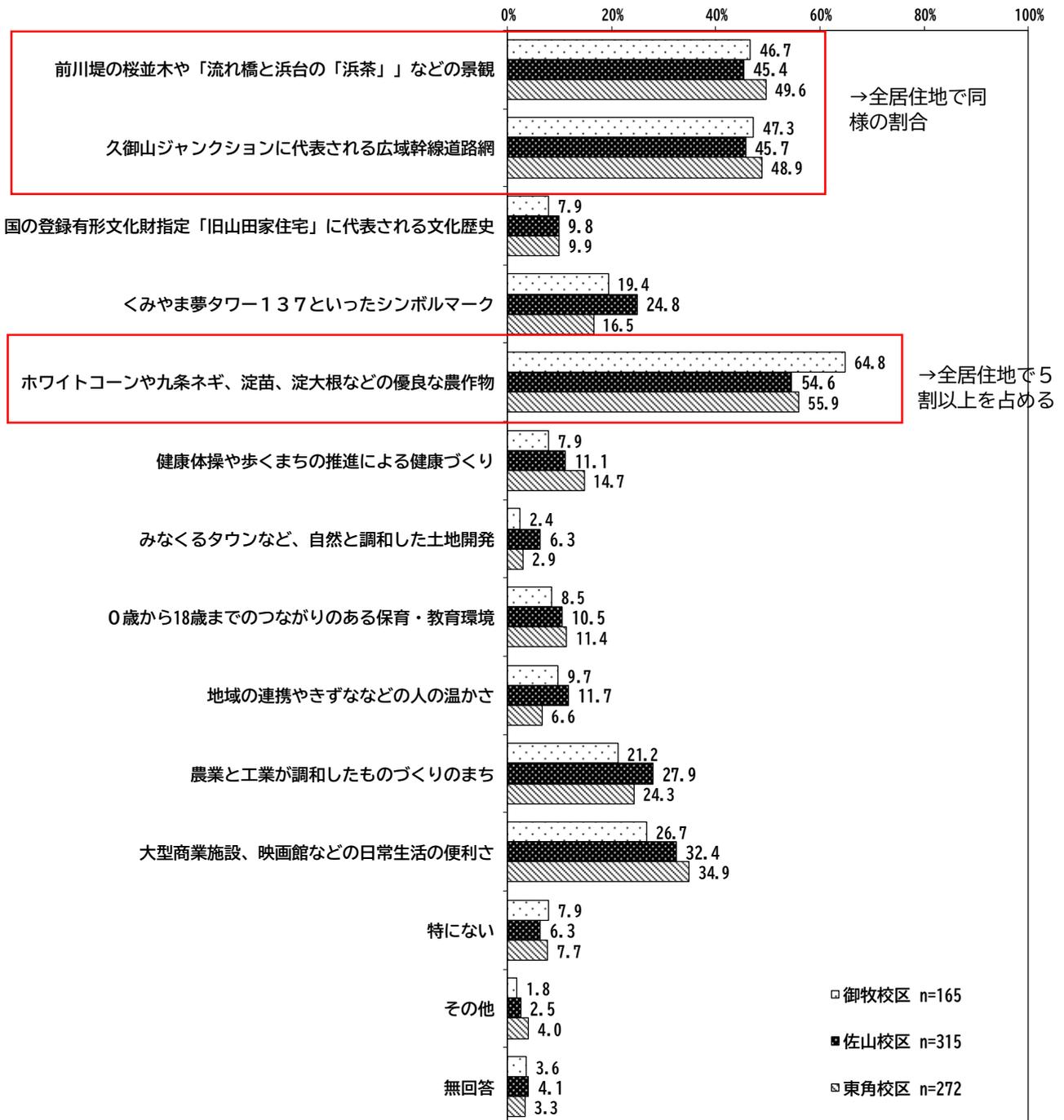
久御山町といえば思い浮かべるモノ・コト（年齢別集計）

- ・ 全年齢層で「ホワイトコーンや九条ネギ、淀苗、淀大根などの優良な農作物」が5割以上を占めています。
- ・ 70～79歳及び80歳以上において「前川堤の桜並木や「流れ橋と浜台の「浜茶」」などの景観」が6割を超えており、他の年齢階層より高くなっています。



久御山町といえば思い浮かべるモノ・コト（居住地別集計）

- ・ 全居住地で「ホワイトコーンや九条ネギ、淀苗、淀大根などの優良な農作物」が5割以上を占めています。
- ・ 全居住地で「前川堤の桜並木や「流れ橋と浜台の「浜茶」」などの景観」及び「久御山ジャンクションに代表される広域幹線道路網」が4割以上を占めています。



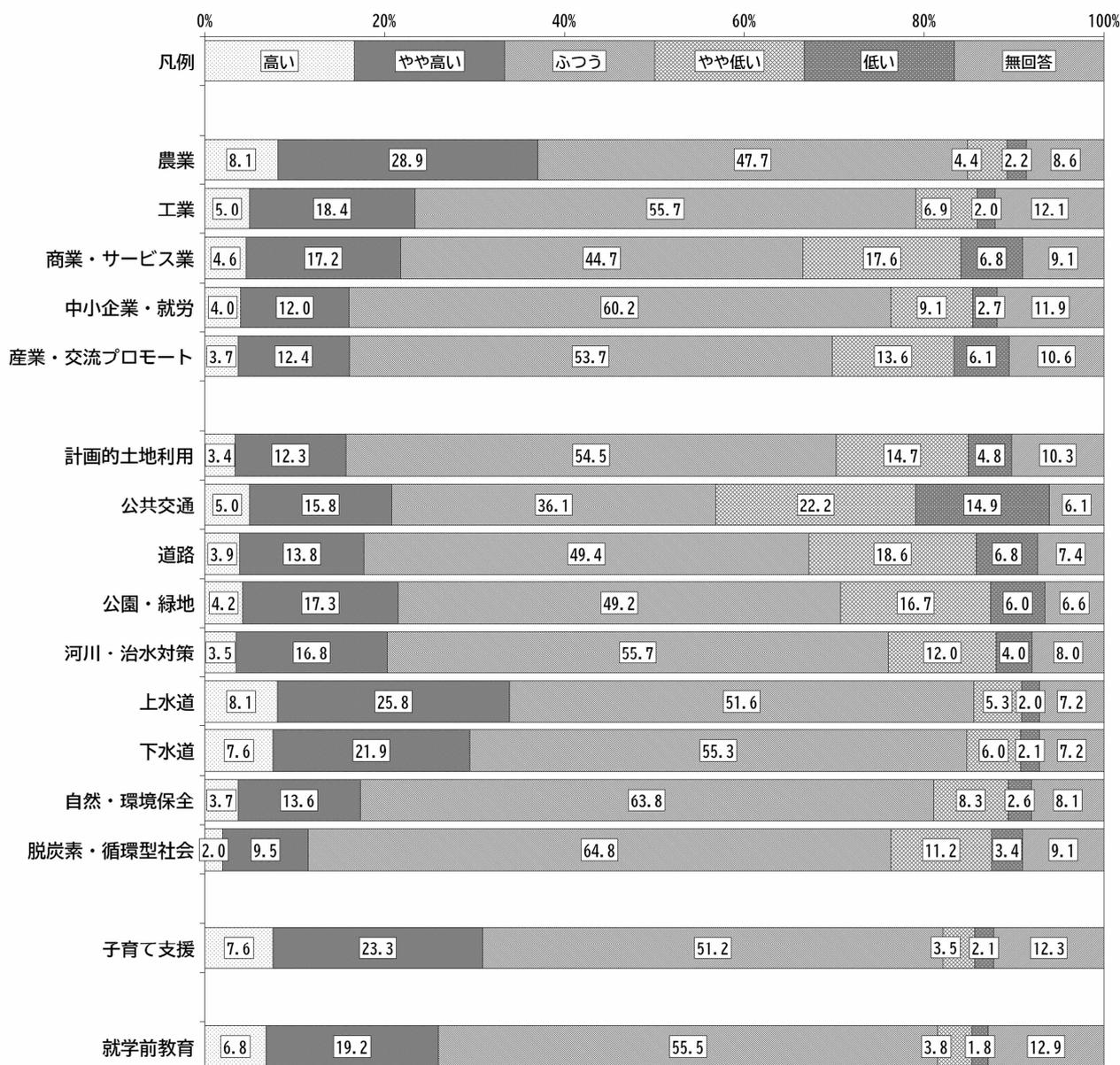
#### 4 まちづくりの満足度・重要度

問11 町が実施している施策について、満足度と今後の重要度について、今の考えに最も近い番号を1つ選んでください。

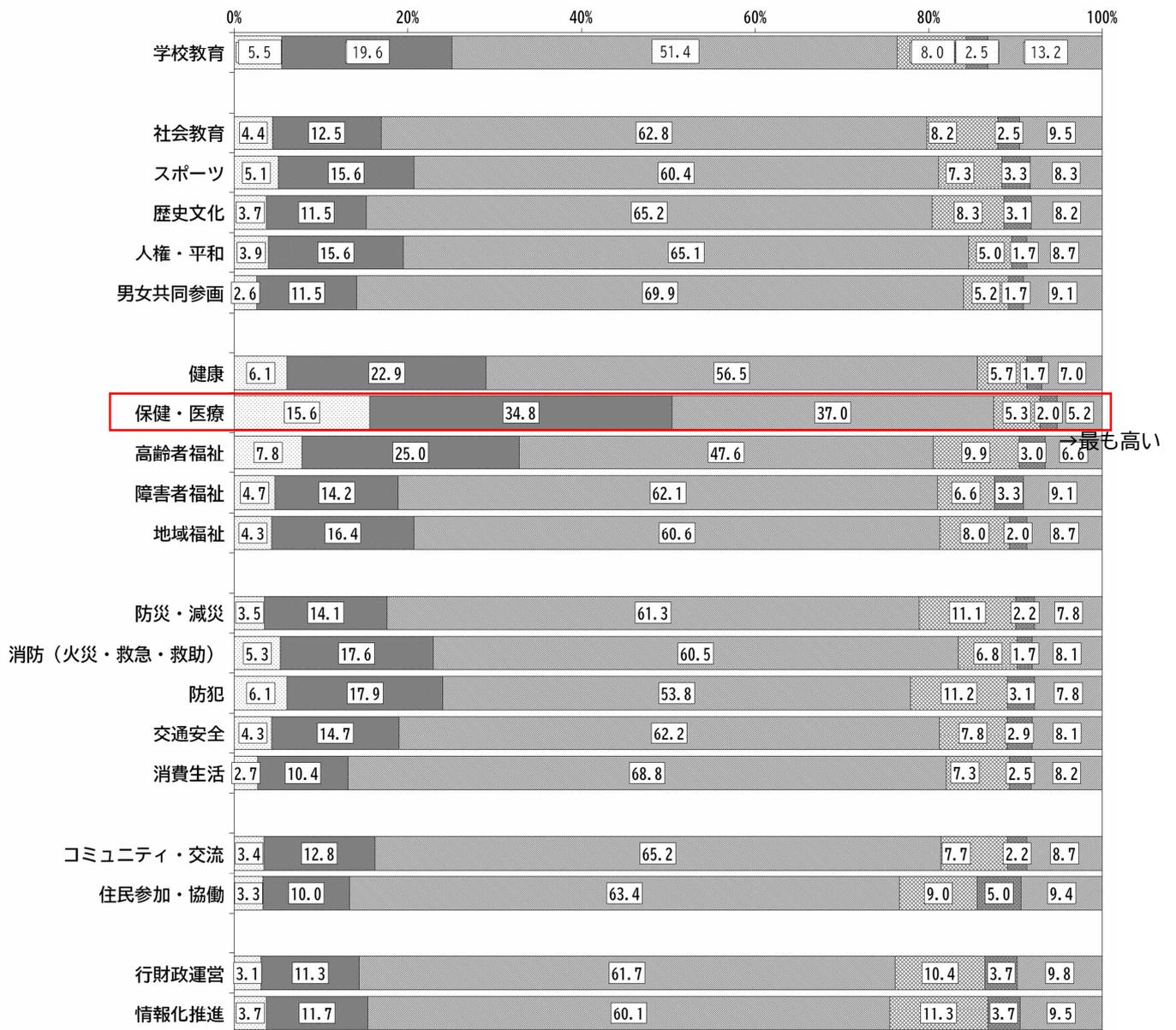
##### 満足度

- ・ 「保険・医療」については、「満足」・「やや満足」がそれぞれ15.6%、34.8%であり、全項目の中で一番満足している住民が多い結果となっています。
- ・ 「農業」、「上水道」、「子育て支援」及び「高齢者福祉」については、「満足」・「やや満足」の合計がそれぞれ30%を超えており、他の項目と比べて満足している住民が多いと考えられます。

##### 満足度

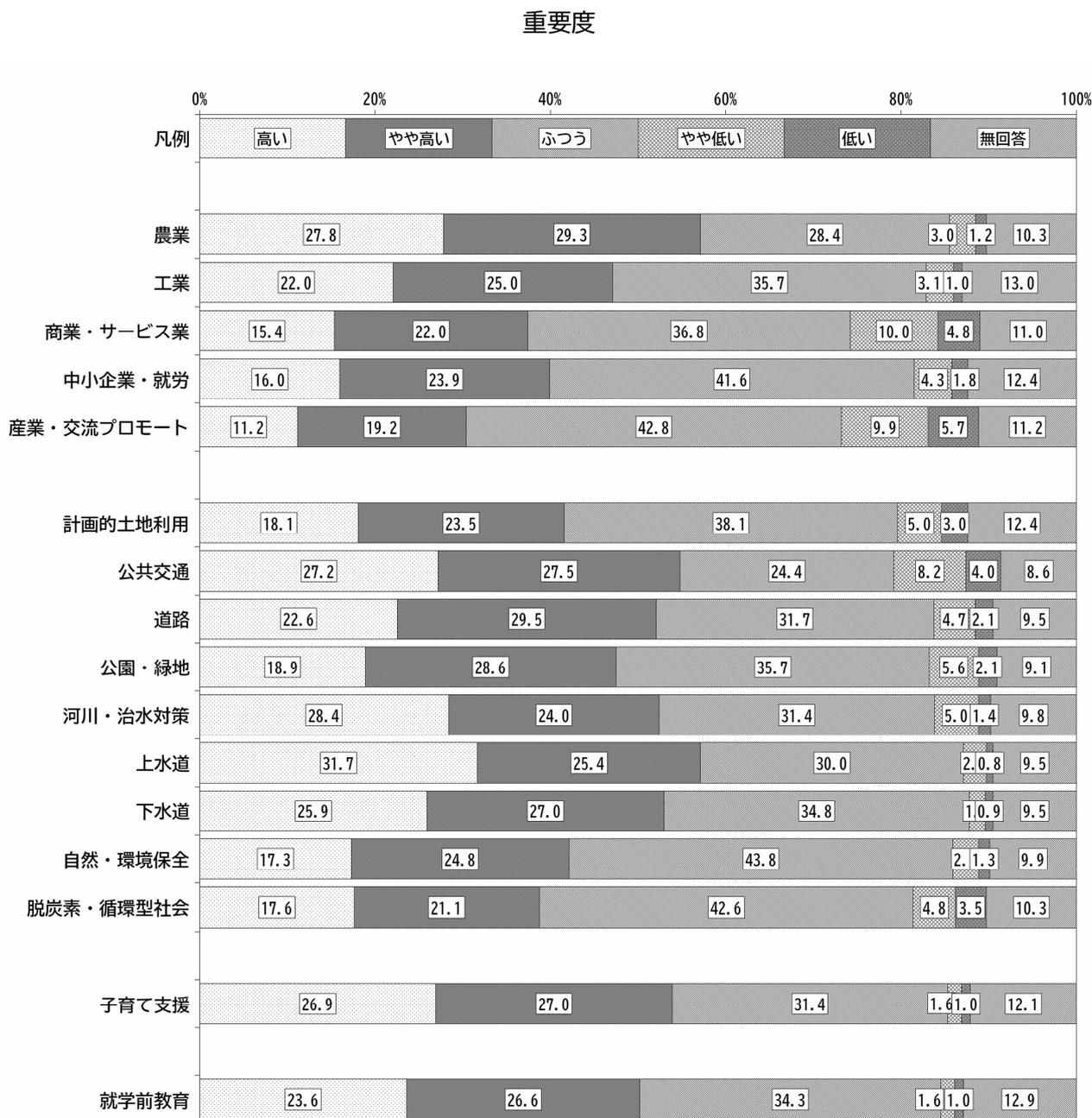


(次ページに続く)

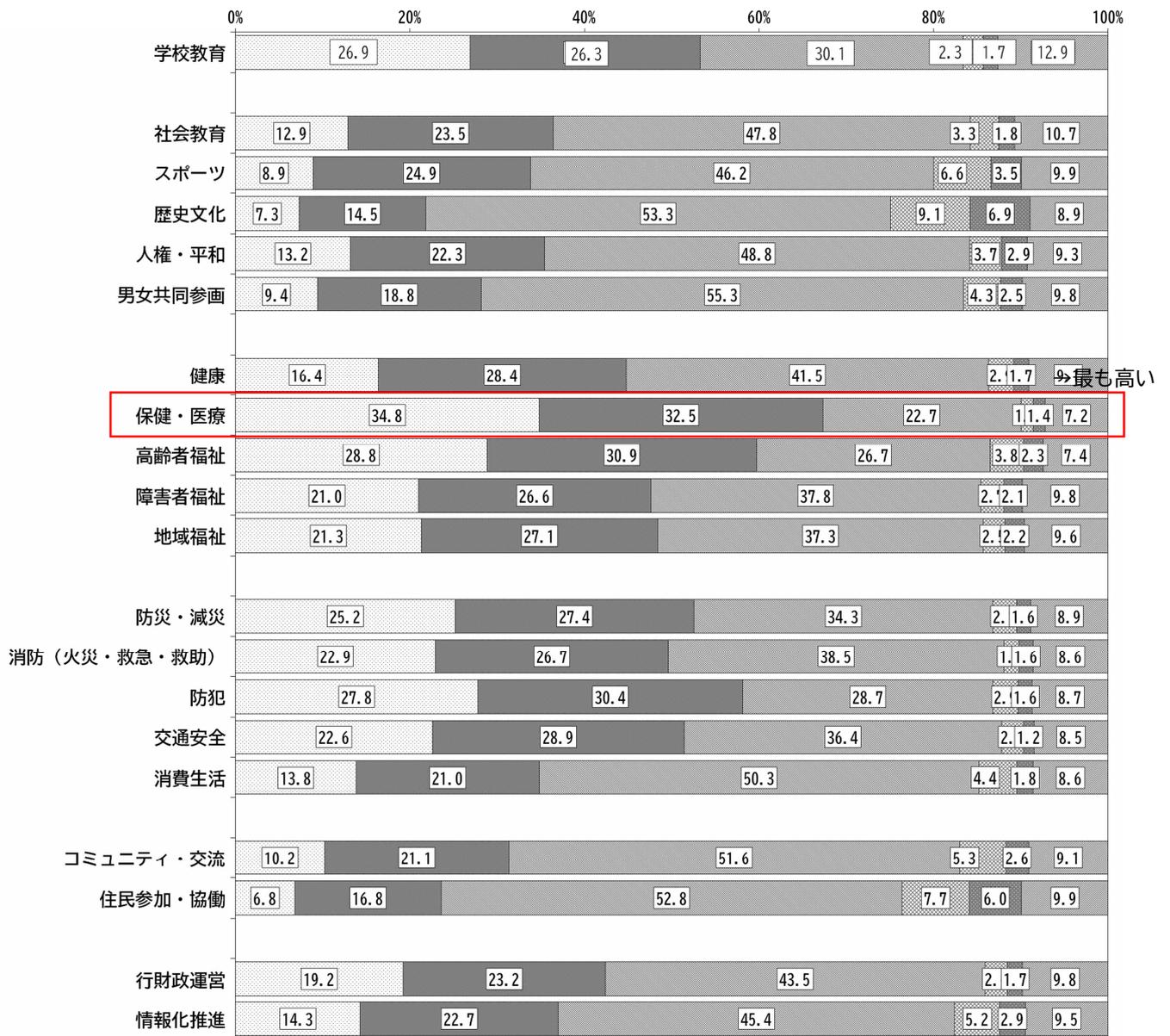


## 重要度

- ・ 「保険・医療」については、「高い」・「やや高い」がそれぞれ34.8%、32.5%あり、全項目の中で一番重要度が高いと考えている住民が多い結果となっています。
- ・ 「農業」、「公共交通」、「道路」、「河川・治水対策」、「上水道」、「下水道」、「子育て支援」、「就学前教育」、「学校教育」、「高齢者福祉」、「防災・減災」、「防犯」及び「交通安全」については、「高い」・「やや高い」の合計がそれぞれ50%を超えており、他の項目と比べて重要度が高いと考えている住民が多いと考えられます。

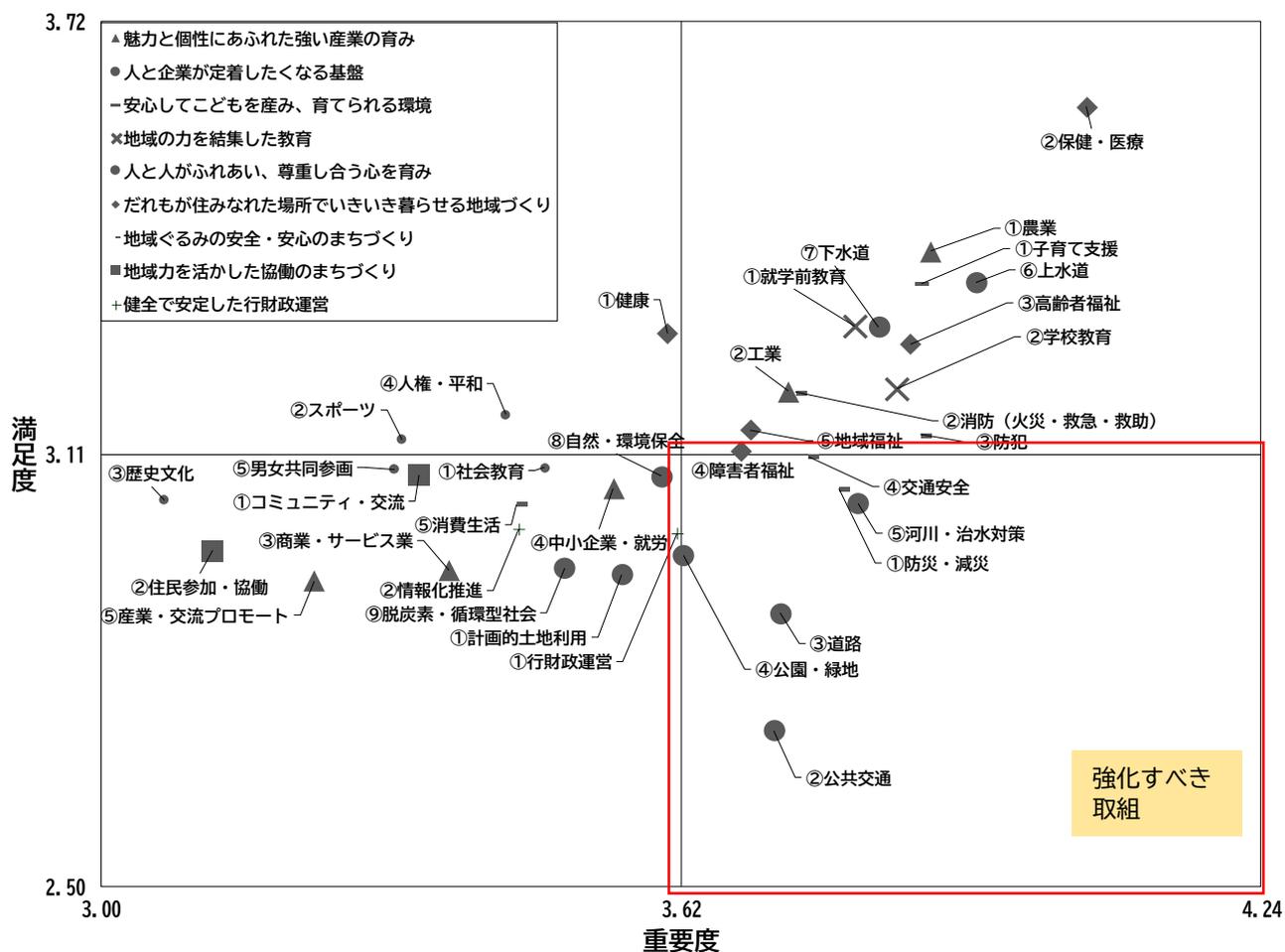


(次ページに続く)



## 散布図

- 町が実施している施策に対する満足度と重要度の結果を4象限で整理すると、36の取組のうち、重要度が平均より高く、満足度が平均より低い領域の取組（強化すべき取組）として、「公共交通」、「道路」、「防災・減災」などの6つの取組が該当しています。



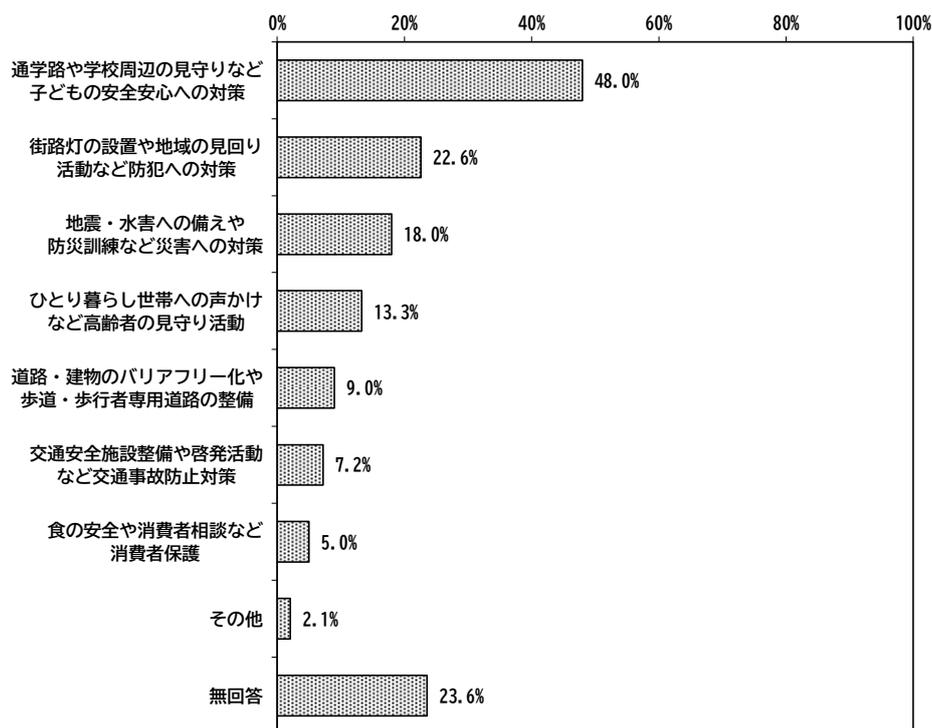
※縦軸は満足度、横軸は重要度です。縦軸との交点は3.62（重要度の平均値）、横軸との交点は3.11（満足度の平均値）です。

## 5 今後のまちづくりで大切なこと

問12 久御山町の安全・安心に関する対策や活動について、充実しているところと充実していないところについて、それぞれ特にあてはまるものを2つまで選んでください。

### 充実しているところ

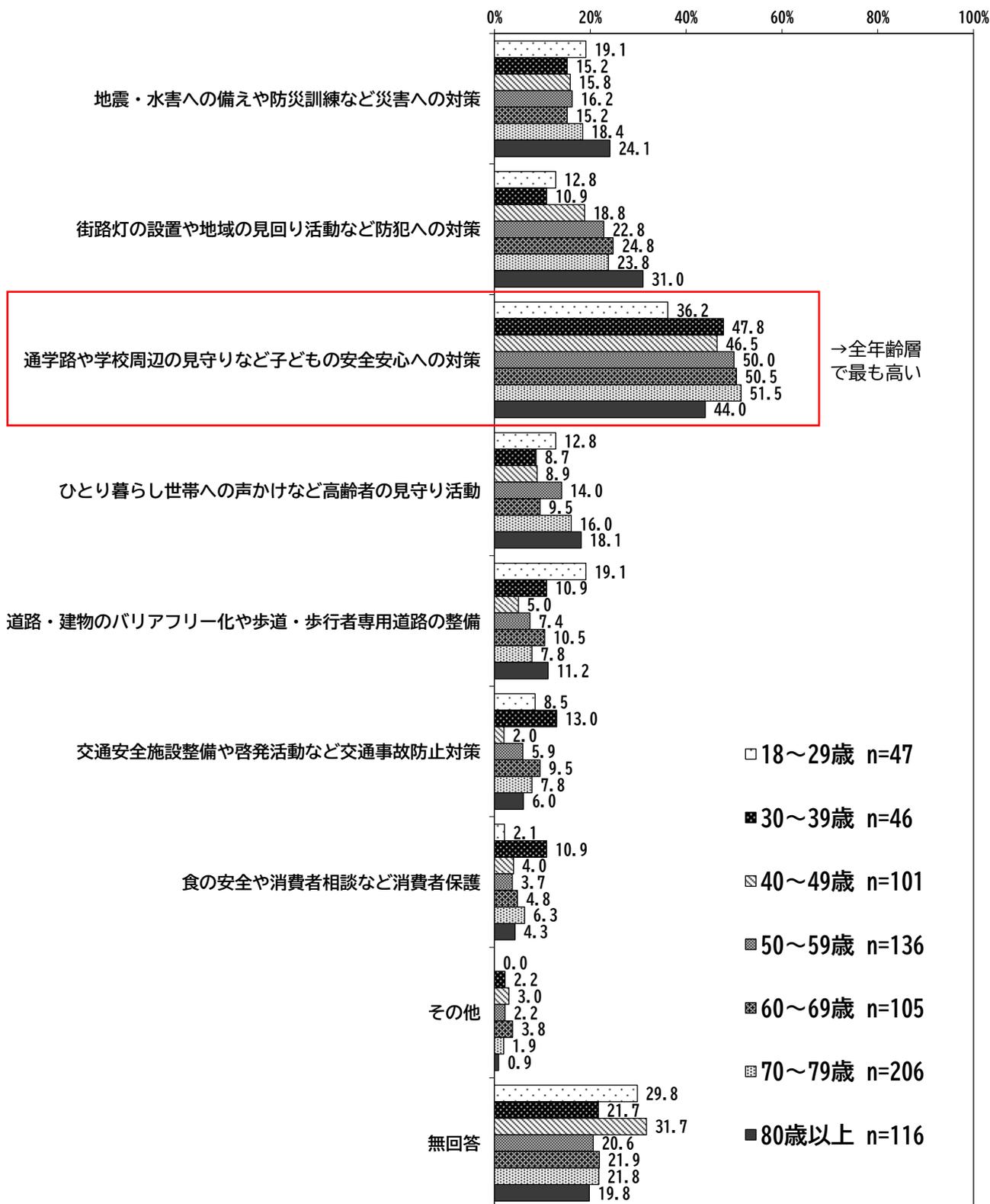
- ・ 「通学路や学校周辺の見守りなど子どもの安全安心への対策」の回答が48.0%と最も多く、次いで「街路灯の設置や地域の見回り活動など防犯への対策」が22.6%、「地震・水害への備えや防災訓練など災害への対策」が18.0%となりました。



No.	選択肢	回答数(n=767)	割合(%)
1	地震・水害への備えや防災訓練など災害への対策	138	18.0
2	街路灯の設置や地域の見回り活動など防犯への対策	173	22.6
3	通学路や学校周辺の見守りなど子どもの安全安心への対策	368	48.0
4	ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り活動	102	13.3
5	道路・建物のバリアフリー化や歩道・歩行者専用道路の整備	69	9.0
6	交通安全施設整備や啓発活動など交通事故防止対策	55	7.2
7	食の安全や消費者相談など消費者保護	38	5.0
8	その他	16	2.1
	無回答	181	23.6

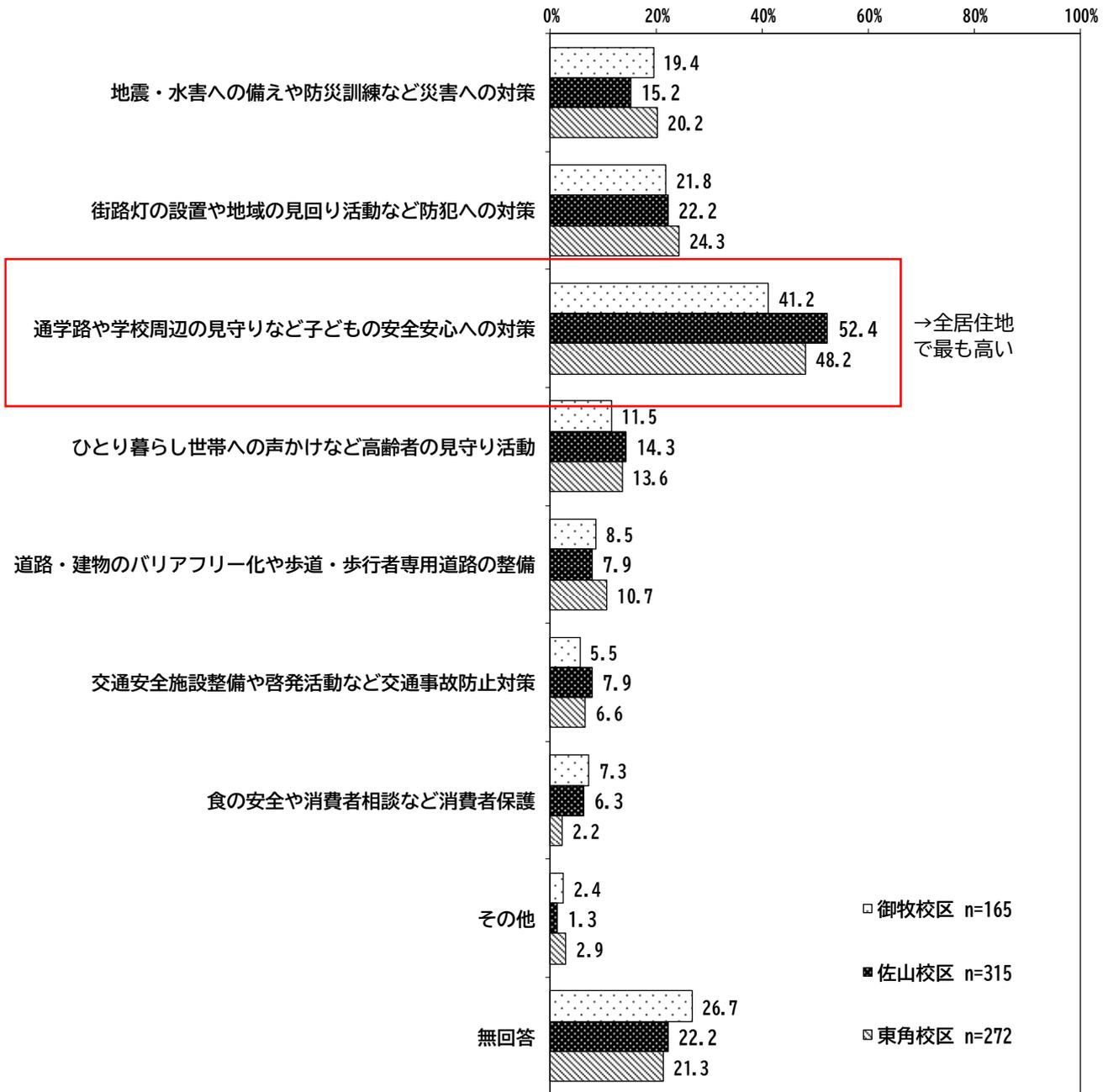
充実しているところ（年齢別集計）

- ・ 全年齢層で「通学路や学校周辺の見守りなど子どもの安全安心への対策」が占める割合が一番高くなっています。



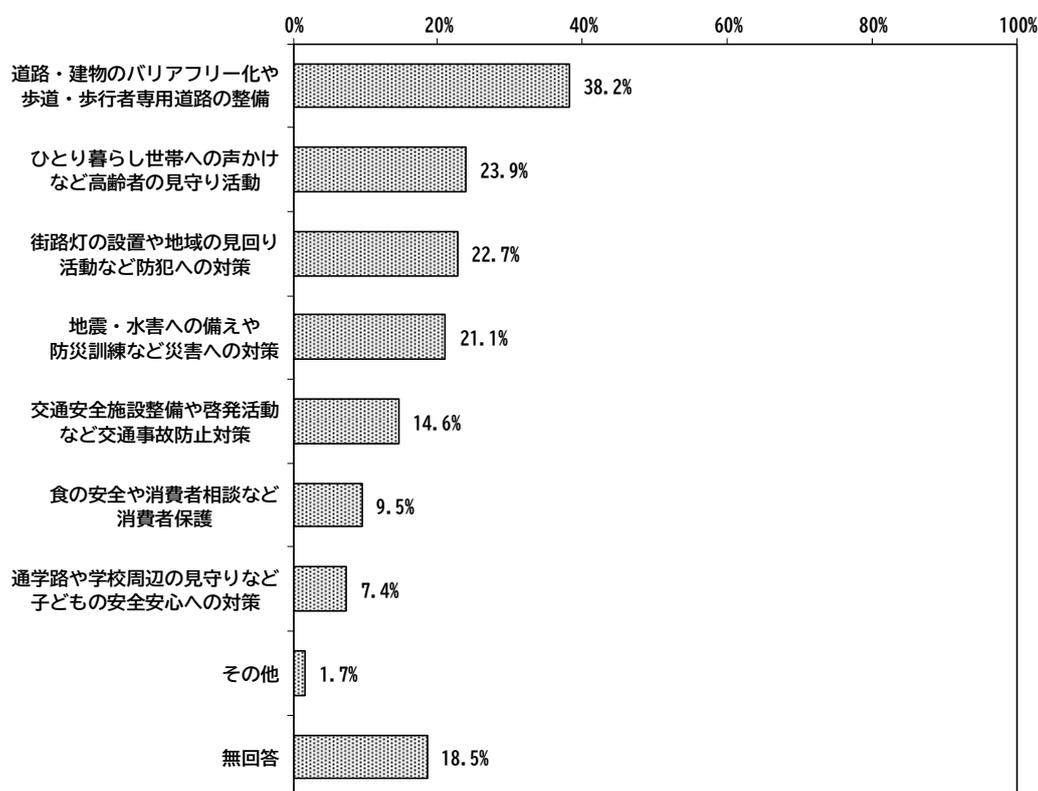
充実しているところ（居住地別集計）

- ・ 全居住地で「通学路や学校周辺の見守りなど子どもの安全安心への対策」が占める割合が一番高くなっています。



### 充実していないところ

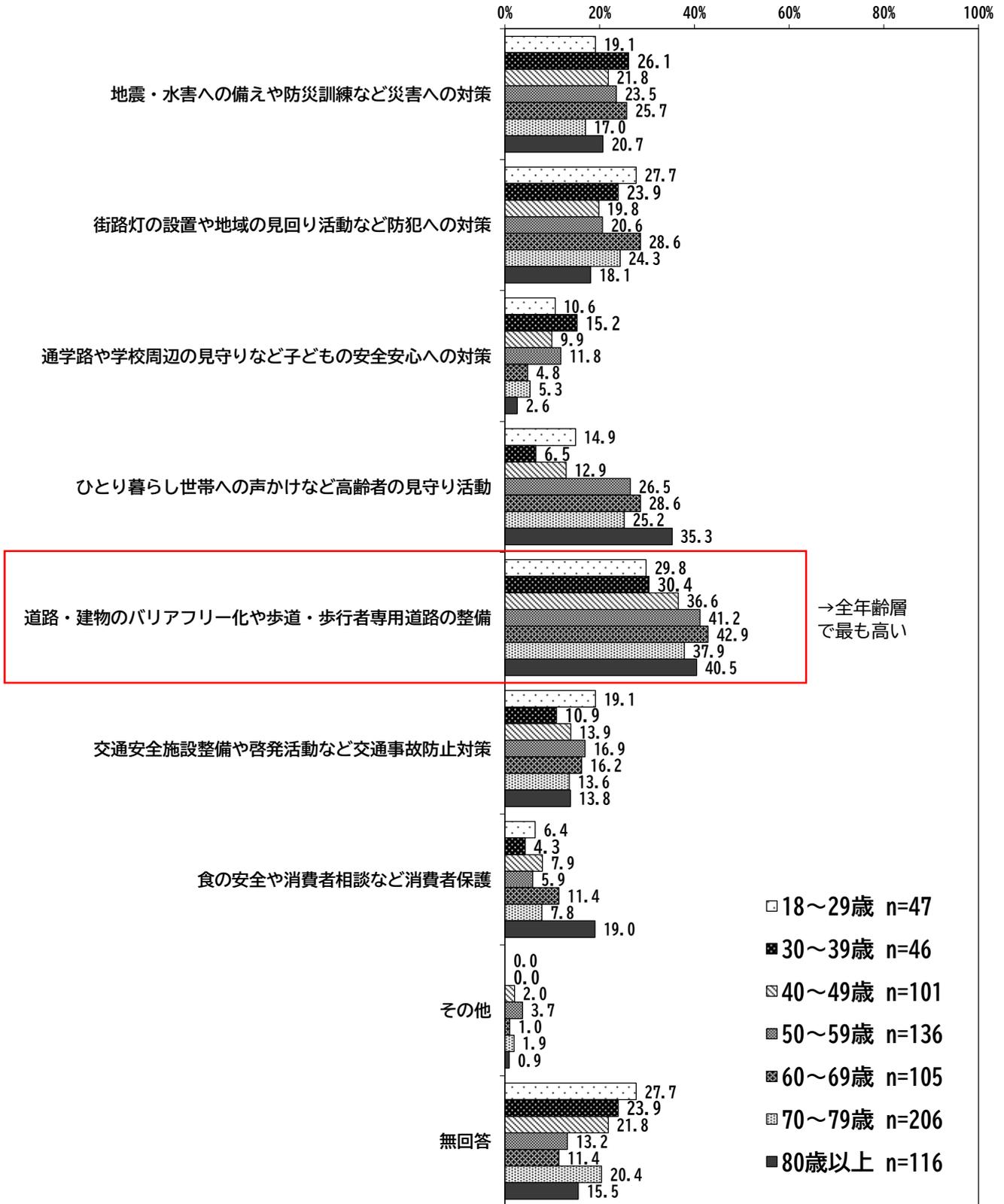
- ・ 「道路・建物のバリアフリー化や歩道・歩行者専用道路の整備」の回答が38.2%と最も多く、次いで「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り活動」が23.9%、「街路灯の設置や地域の見回り活動など防犯への対策」が22.7%となりました。



No.	選択肢	回答数(n=767)	割合(%)
1	地震・水害への備えや防災訓練など災害への対策	162	21.1
2	街路灯の設置や地域の見回り活動など防犯への対策	174	22.7
3	通学路や学校周辺の見守りなど子どもの安全安心への対策	57	7.4
4	ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り活動	183	23.9
5	道路・建物のバリアフリー化や歩道・歩行者専用道路の整備	293	38.2
6	交通安全施設整備や啓発活動など交通事故防止対策	112	14.6
7	食の安全や消費者相談など消費者保護	73	9.5
8	その他	13	1.7
	無回答	142	18.5

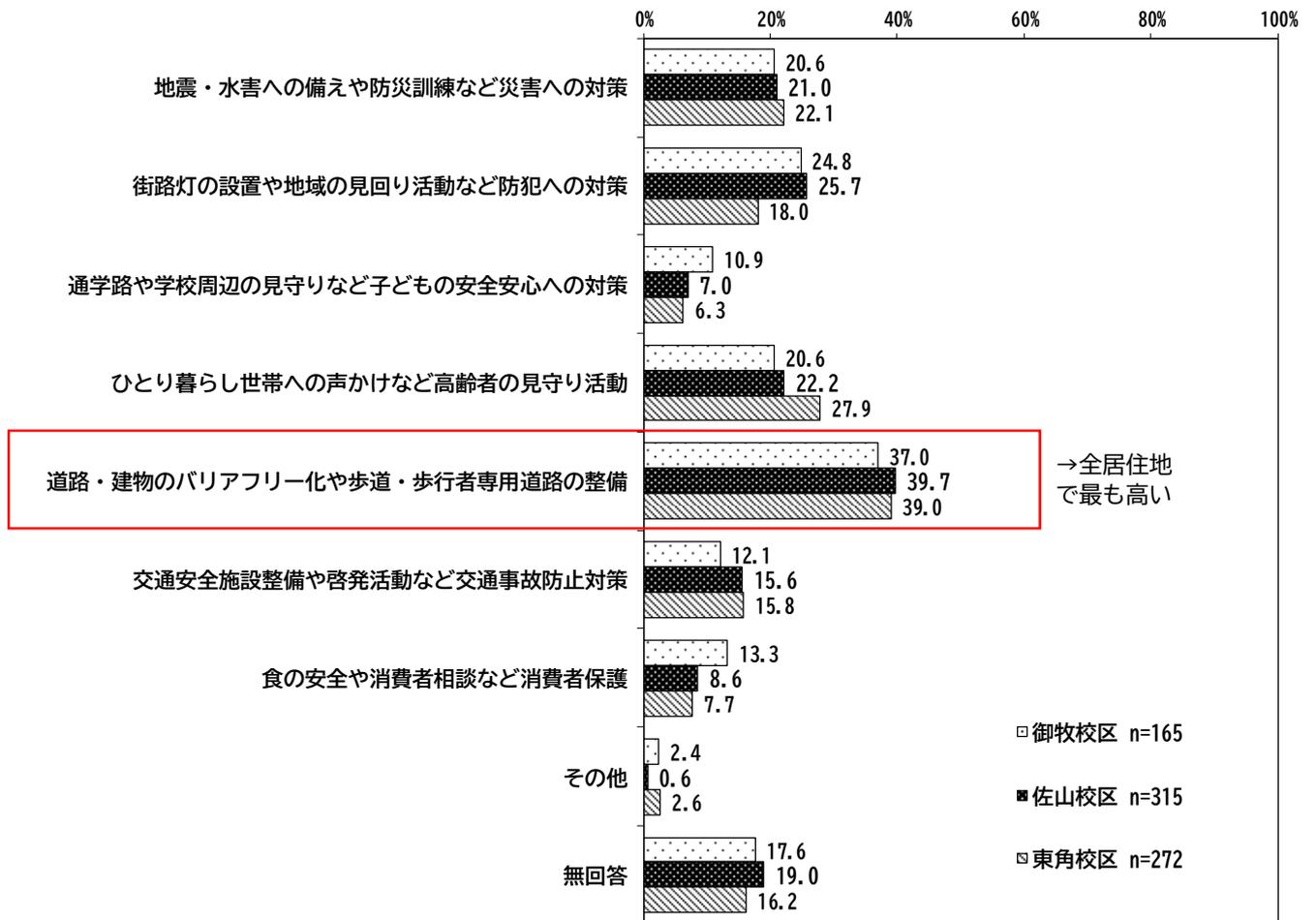
充実していないところ（年齢別集計）

- ・ 全年齢層で「道路・建物のバリアフリー化や歩道・歩行者専用道路の整備」が占める割合が一番高くなっています。



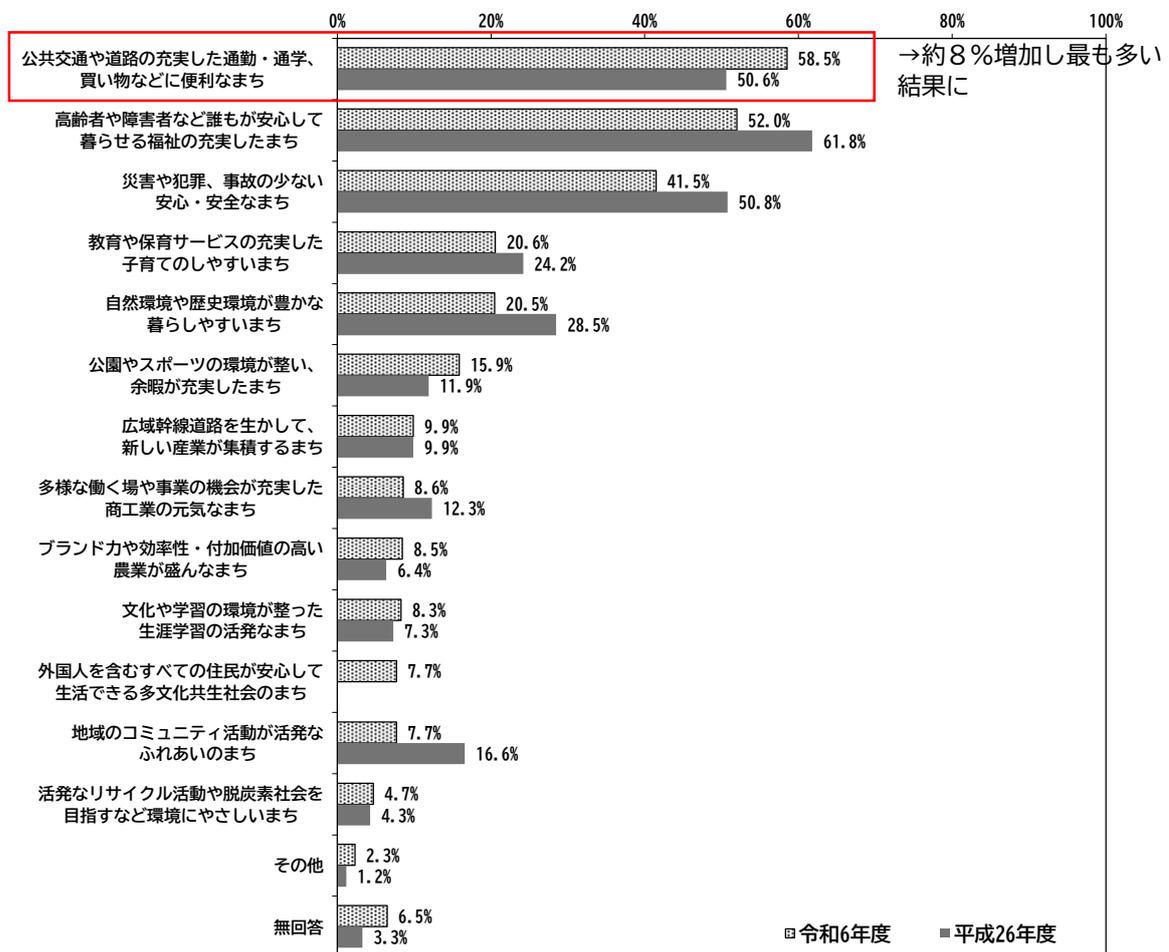
充実していないところ（居住地別集計）

- 全居住地で「道路・建物のバリアフリー化や歩道・歩行者専用道路の整備」が占める割合が一番高くなっています。



問13 あなたは、10年後の久御山町はどのようなまちであってほしいと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。

- ・ 「公共交通（電車・バス）や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」の回答が58.5%と最も多く、次いで、「高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせる福祉の充実したまち」が52.0%、「災害や犯罪、事故の少ない安心・安全なまち」が41.5%となりました。
- ・ 前回アンケートと比較すると、同様の傾向ではあるものの、「公共交通（電車・バス）や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」が約8%増加し、「高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせる福祉の充実したまち」が約10%減少、「災害や犯罪、事故の少ない安心・安全なまち」が約9%減少しています。
- ・ 「公園やスポーツの環境が整い、余暇が充実したまち」は、前回アンケートから約4%増加しています。

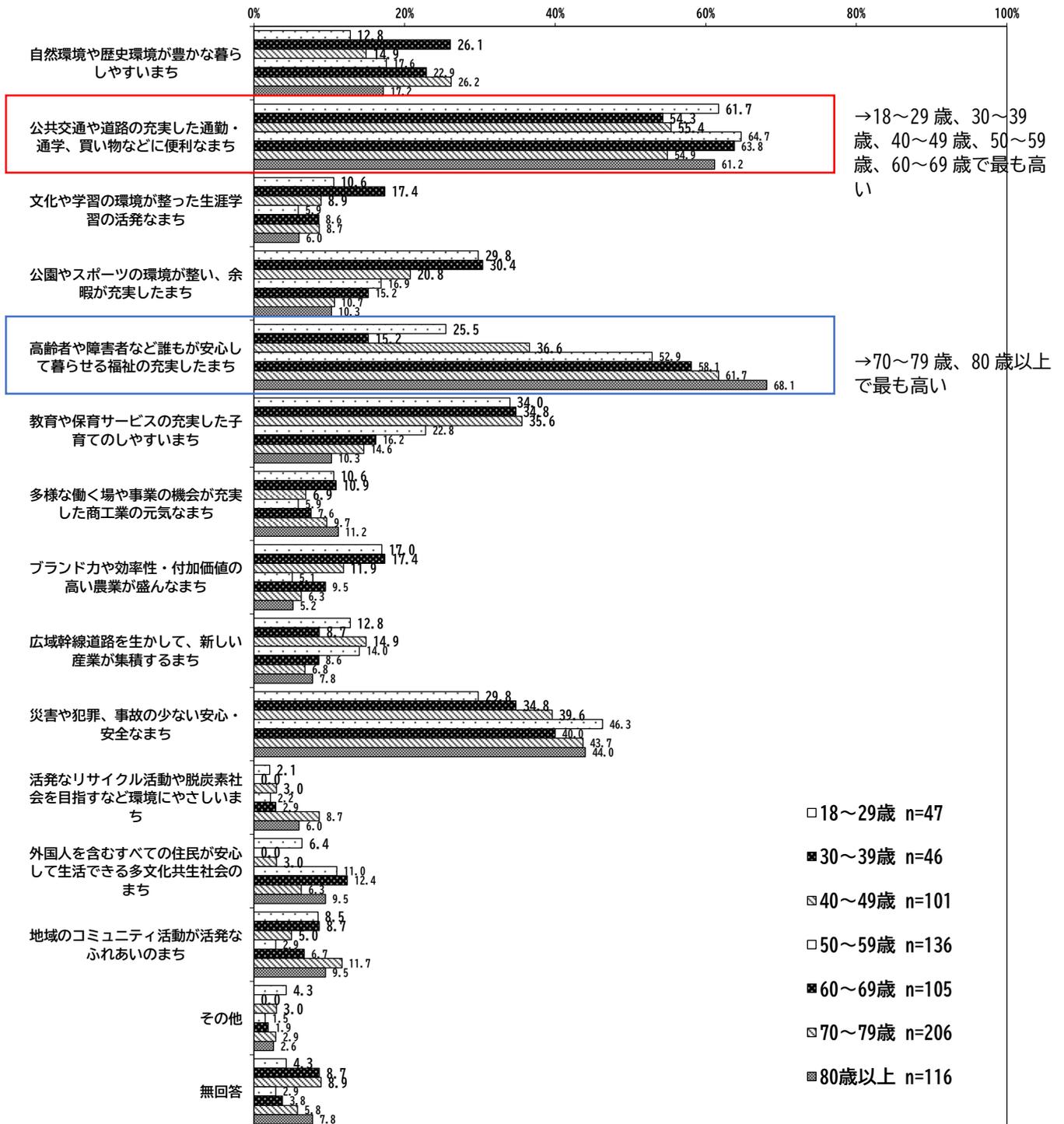


※「外国人を含むすべての住民が安心して生活できる多文化共生社会のまち」の選択肢は今回のアンケートから追加しています。

No.	選択肢	令和 6 年度		平成 26 年度	
		回答数 (n=767)	割合 (%)	回答数 (n=913)	割合 (%)
1	自然環境や歴史環境が豊かな暮らしやすいまち	157	20.5	260	28.5
2	公共交通や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち	449	58.5	462	50.6
3	文化や学習の環境が整った生涯学習の活発なまち	64	8.3	67	7.3
4	公園やスポーツの環境が整い、余暇が充実したまち	122	15.9	109	11.9
5	高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせる福祉の充実したまち	399	52.0	564	61.8
6	教育や保育サービスの充実した子育てのしやすいまち	158	20.6	221	24.2
7	多様な働く場や事業の機会が充実した商工業の元気なまち	66	8.6	112	12.3
8	ブランド力や効率性・付加価値の高い農業が盛んなまち	65	8.5	58	6.4
9	広域幹線道路を生かして、新しい産業が集積するまち	76	9.9	90	9.9
10	災害や犯罪、事故の少ない安心・安全なまち	318	41.5	464	50.8
11	活発なりサイクル活動や脱炭素社会を目指すなど環境にやさしいまち	36	4.7	39	4.3
12	外国人を含むすべての住民が安心して生活できる多文化共生社会のまち	59	7.7	-	-
13	地域のコミュニティ活動が活発なふれあいのまち	59	7.7	152	16.6
14	その他	18	2.3	11	1.2
	無回答	50	6.5	30	3.3

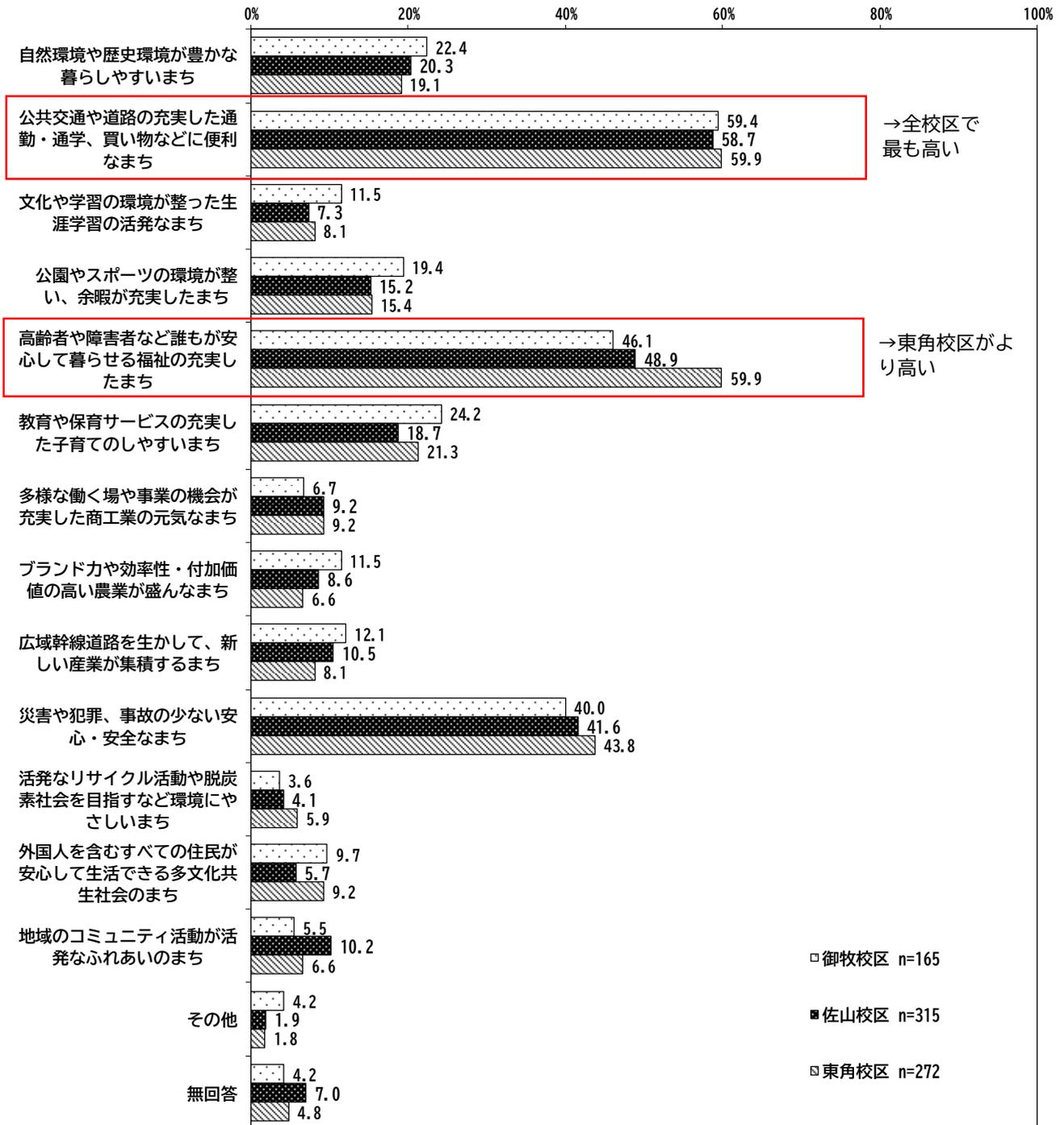
10年後の久御山町（年齢別集計）

- 18～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳及び60～69歳では、「公共交通や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」が最も高い割合となっています。
- 70～79歳及び80歳以上では、「高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせる福祉の充実したまち」が最も高い割合となっています。



10年後の久御山町（居住地別集計）

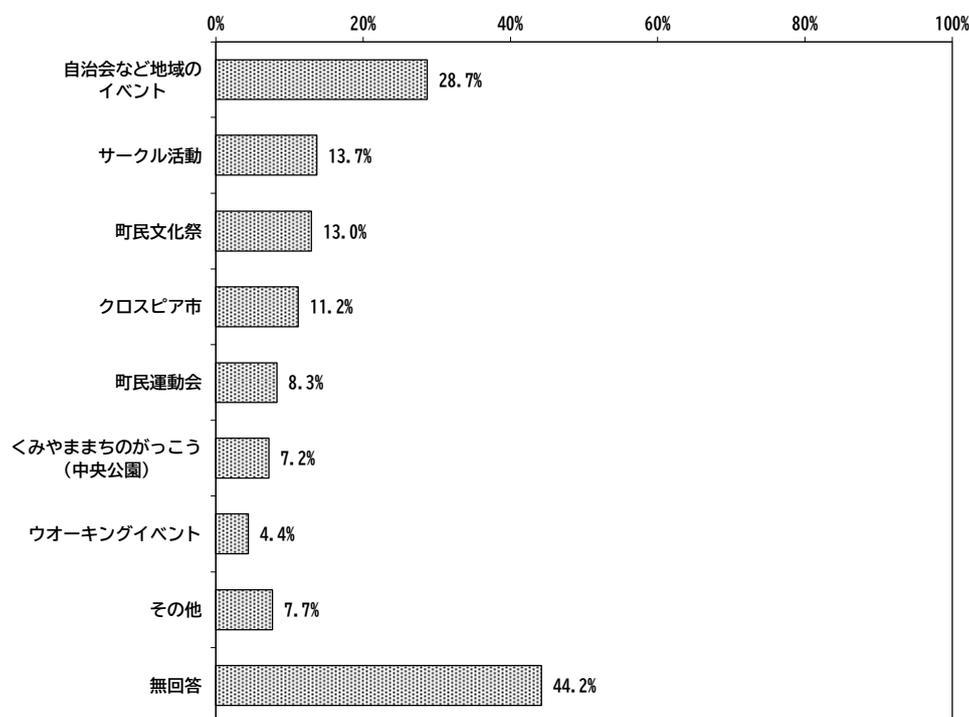
- ・ 全校区で、「公共交通や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」が5割以上を占め、最も高い割合となっています。
- ・ 東角校区では「高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせる福祉の充実したまち」が59.9%と他の校区よりもより高くなっています。



## 6 地域活性化に向けた取り組みについて

問14 令和5年5月、新型コロナウイルスが5類移行した後に、あなたが参加したことのあるイベント等について、あてはまるものをすべて選んでください。

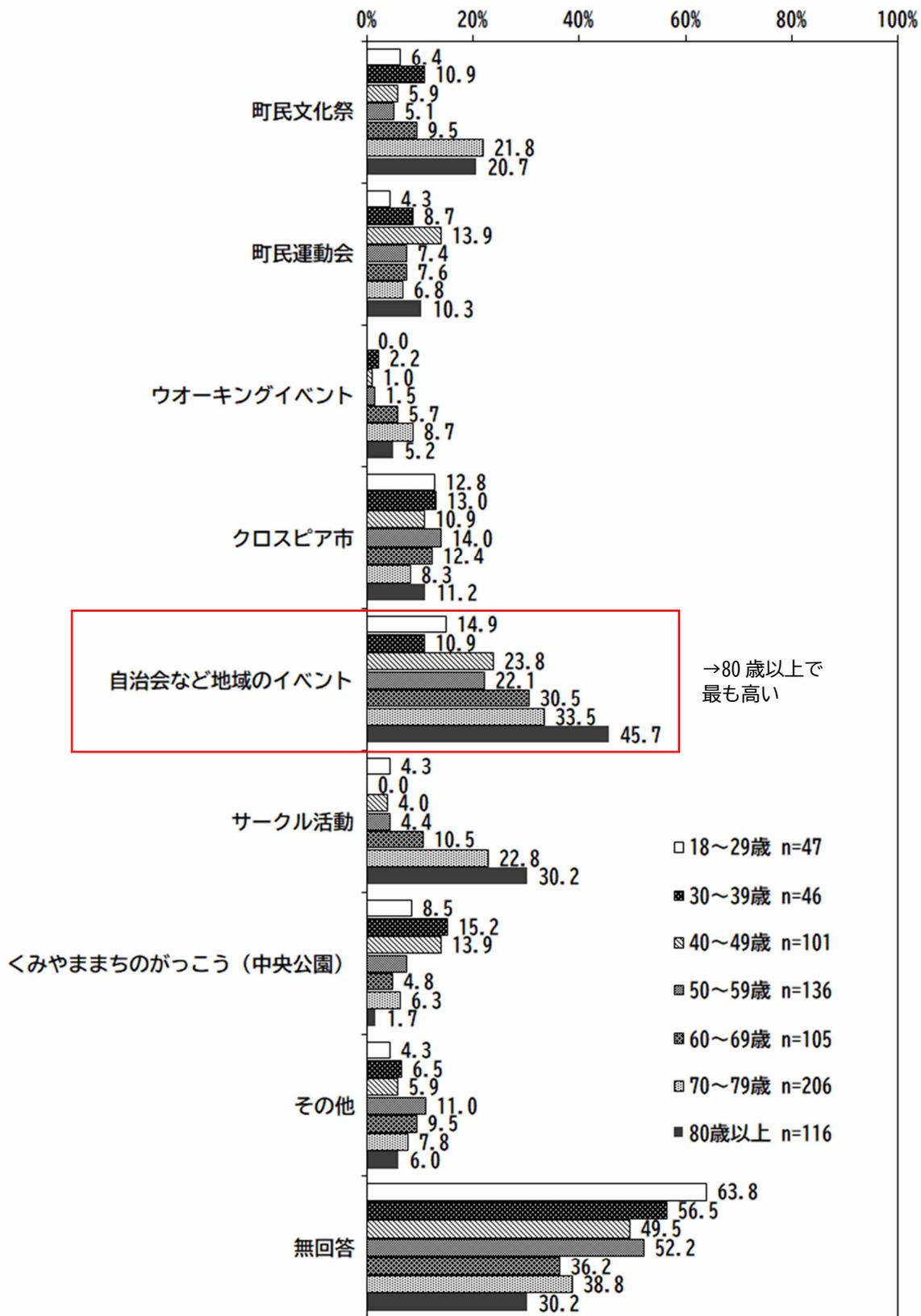
- ・ 「自治会などの地域イベント」の回答が28.7%と最も多く、次いで「サークル活動」が13.7%、「町民文化祭」が13.0%となりました。



No.	選択肢	回答数(n=767)	割合(%)
1	町民文化祭	100	13.0
2	町民運動会	64	8.3
3	ウォーキングイベント	34	4.4
4	クロスピア市	86	11.2
5	自治会など地域のイベント	220	28.7
6	サークル活動	105	13.7
7	くみやままちのがっこう (中央公園)	55	7.2
8	その他	59	7.7
	無回答	339	44.2

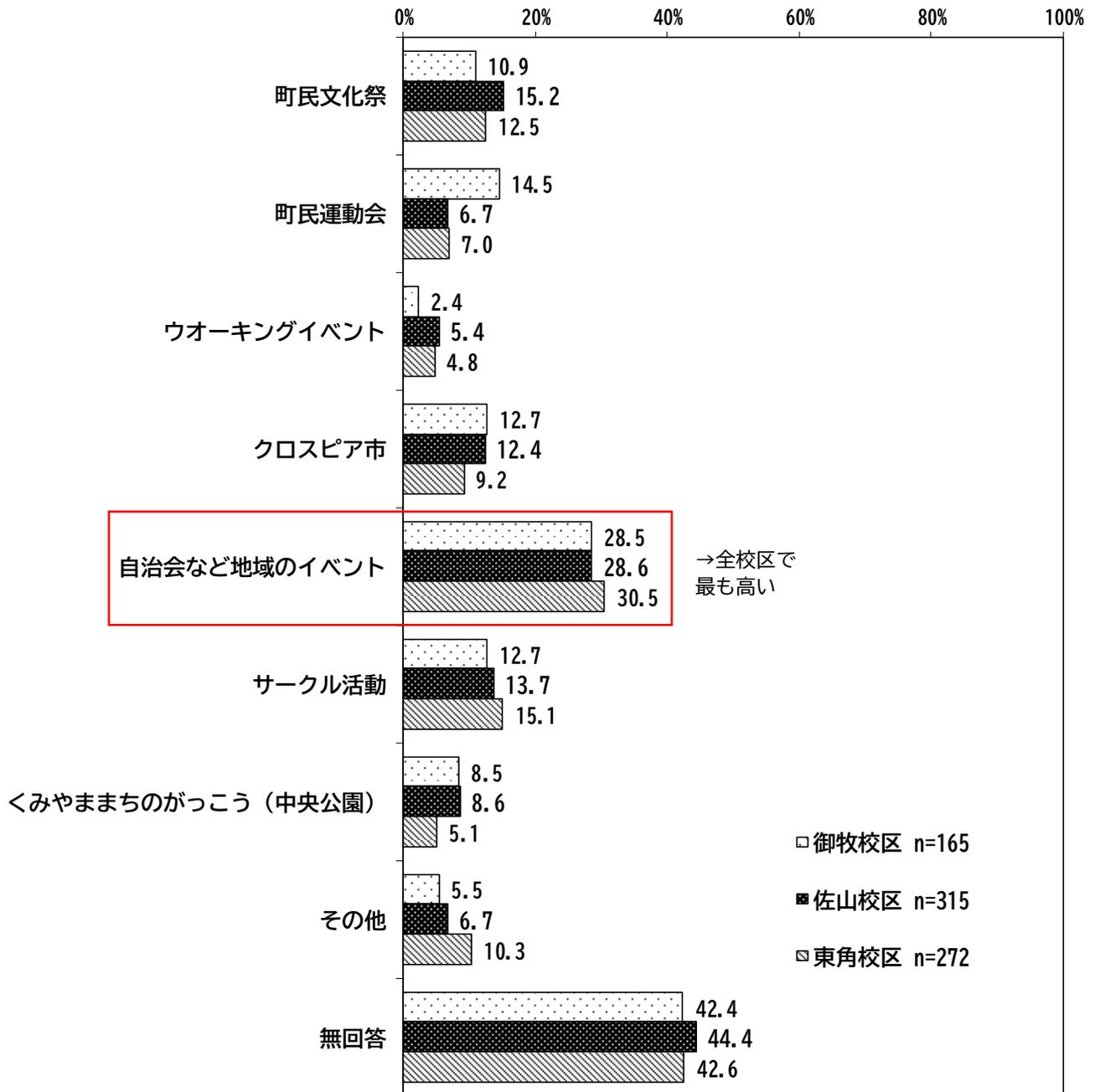
新型コロナウイルス5類移行後に参加したイベント（年齢別集計）

- 80歳以上では、「自治会など地域のイベント」が45.7%、「サークル活動」が30.2%を占めており、他の年齢階層より高くなっています。



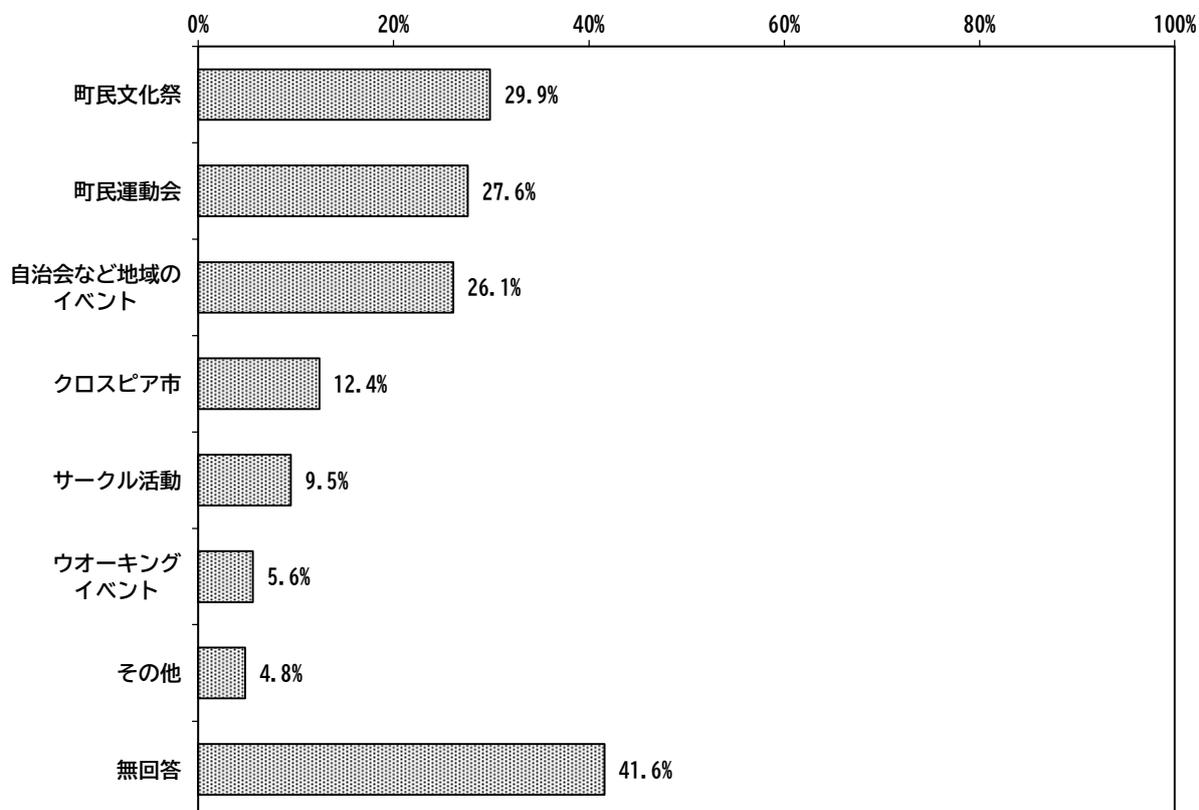
新型コロナウイルス5類移行後に参加したイベント（居住地別集計）

- ・ 全校区で、「自治会など地域のイベント」が最も高い割合となっています。



問15 あなたが新型コロナウイルスがまん延する前までに参加していたものの、今は参加していないイベントや活動などについて、あてはまるものをすべて選んでください。

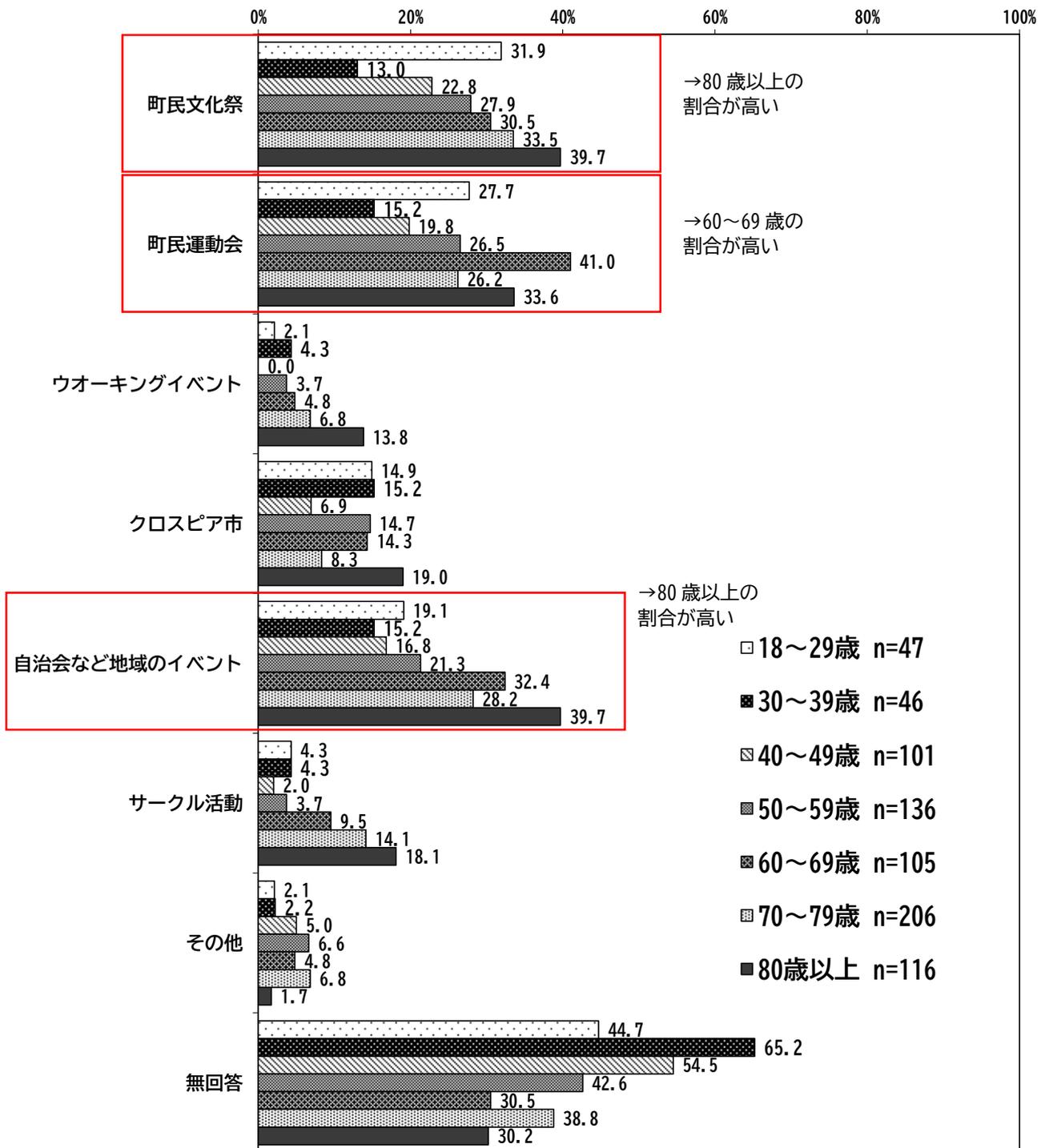
- ・ 「町民文化祭」の回答が29.9%と最も多く、次いで「町民運動会」が27.6%、「自治会など地域のイベント」が26.1%となりました。



No.	選択肢	回答数(n=767)	割合(%)
1	町民文化祭	229	29.9
2	町民運動会	212	27.6
3	ウォーキングイベント	43	5.6
4	クロスピア市	95	12.4
5	自治会など地域のイベント	200	26.1
6	サークル活動	73	9.5
7	その他	37	4.8
	無回答	319	41.6

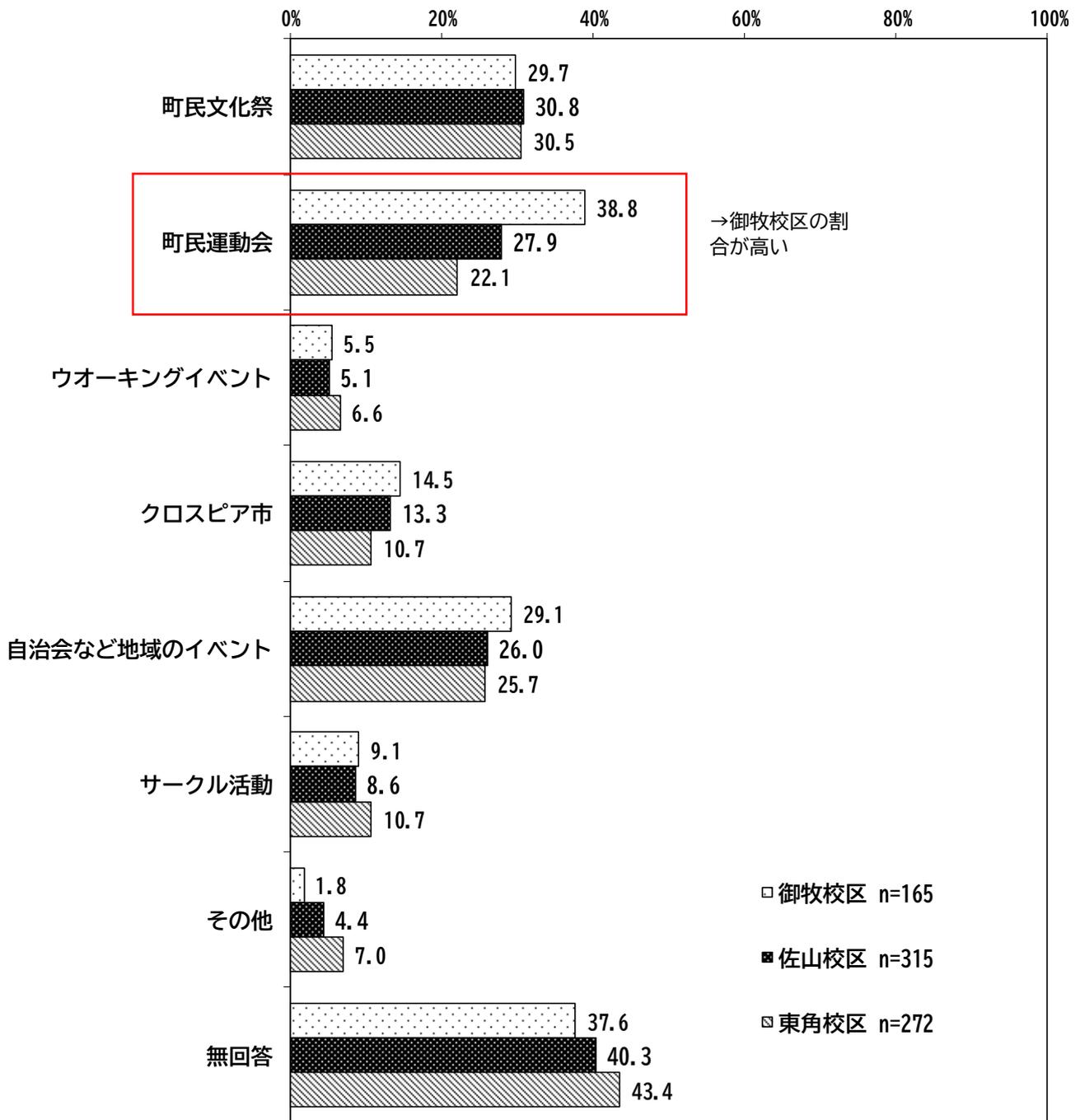
新型コロナウイルスまん延前に参加していたイベント（年齢別集計）

- ・ 60～69歳では、「町民運動会」が41.0%を占め、他の年齢階層より高くなっています。
- ・ 80歳以上では、「町民文化祭」及び「自治会など地域のイベント」がそれぞれ39.7%を占めており、他の年齢階層より高くなっています。



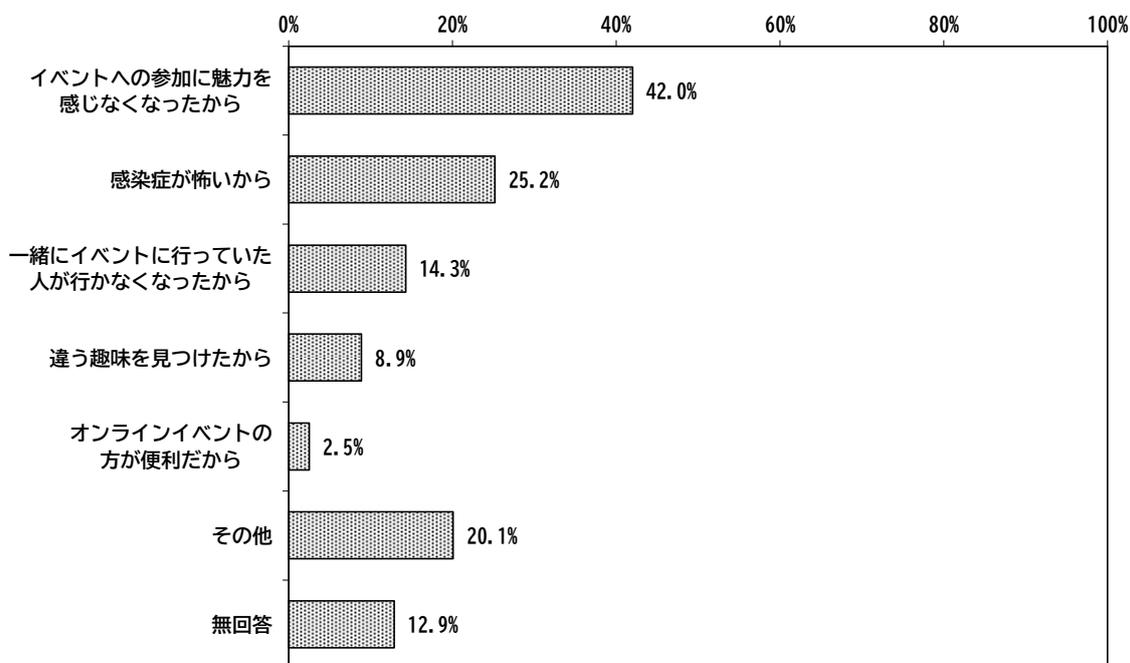
新型コロナウイルスまん延前に参加していたイベント（居住地別集計）

- 御牧校区では、「町民運動会」が38.8%を占め、他の校区より高くなっています。



問16 前問で参加しないイベントがある場合、参加しなくなった理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

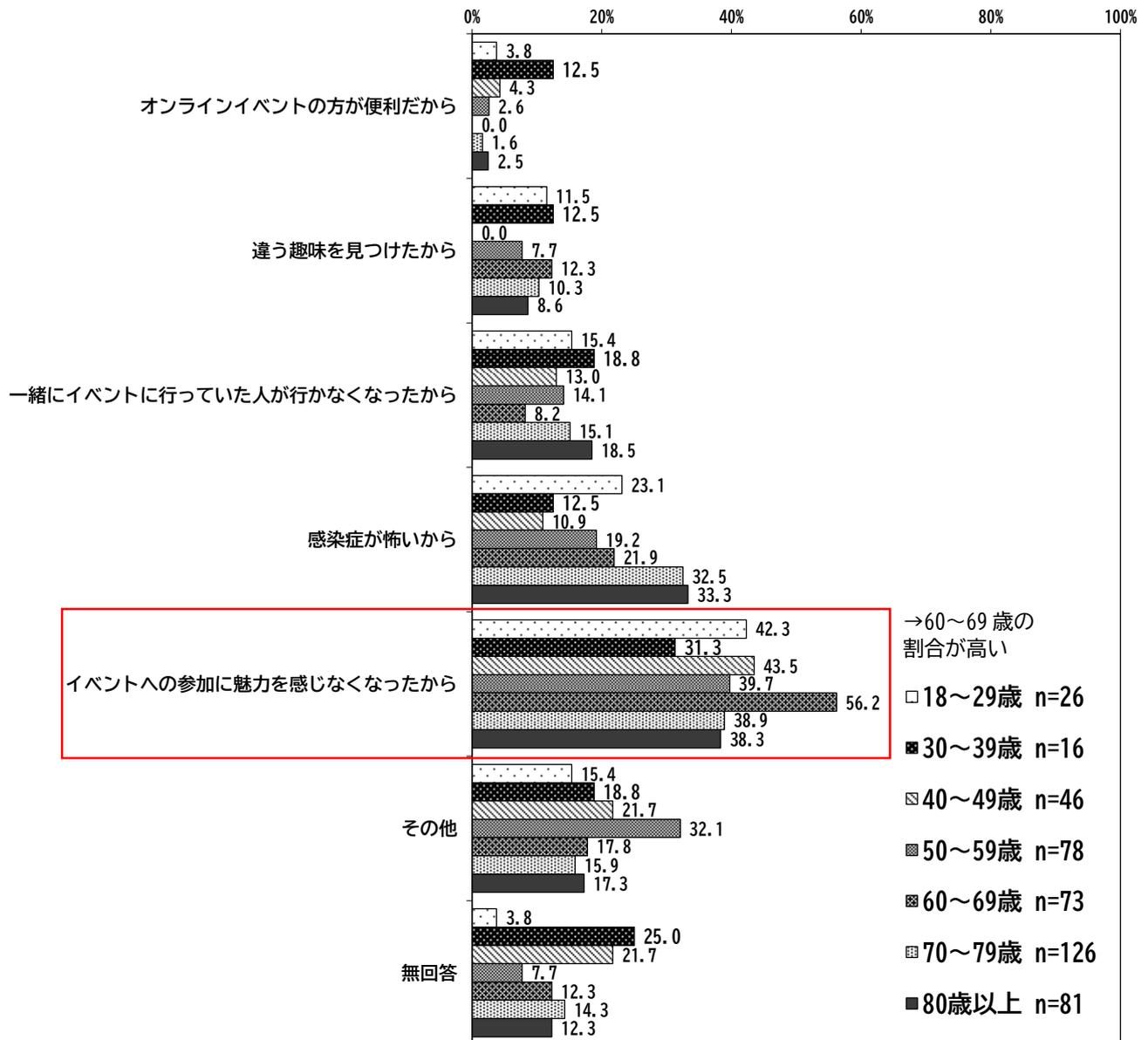
- ・ 「イベントへの参加に魅力を感じなくなったから」の回答が42.0%と最も多く、次いで「感染症が怖いから」が25.2%、「一緒にイベントに行っていた人が行かなくなったから」が14.3%となりました。



No.	選択肢	回答数(n=448)	割合(%)
1	オンラインイベントの方が便利だから	11	2.5
2	違う趣味を見つけたから	40	8.9
3	一緒にイベントに行っていた人が行かなくなったから	64	14.3
4	感染症が怖いから	113	25.2
5	イベントへの参加に魅力を感じなくなったから	188	42.0
6	その他	90	20.1
	無回答	58	12.9

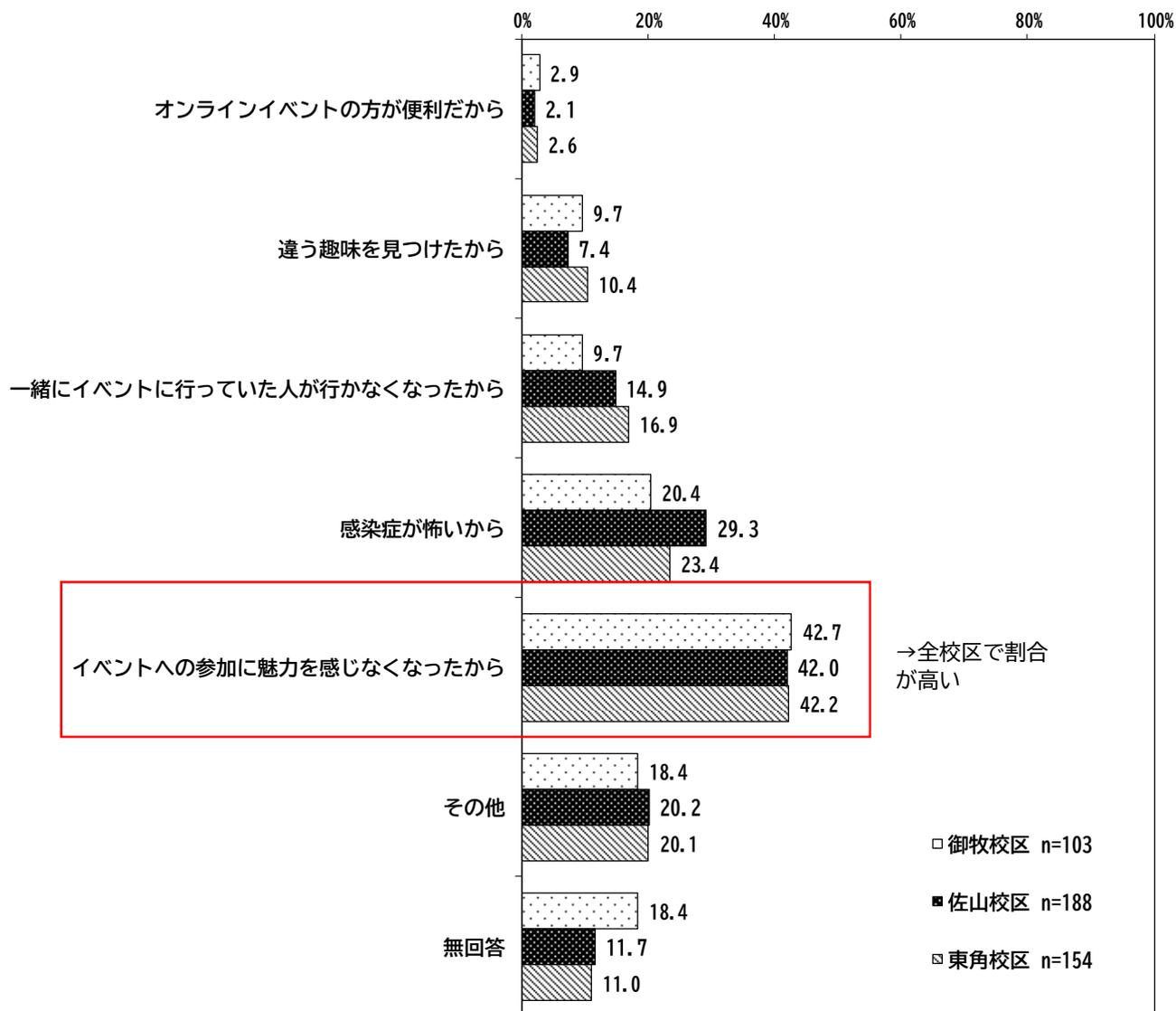
イベントに参加しなくなった理由（年齢別集計）

- 60～69歳では、「イベントへの参加に魅力を感じなくなったから」が56.2%を占めており、他の年齢階層より高くなっています。



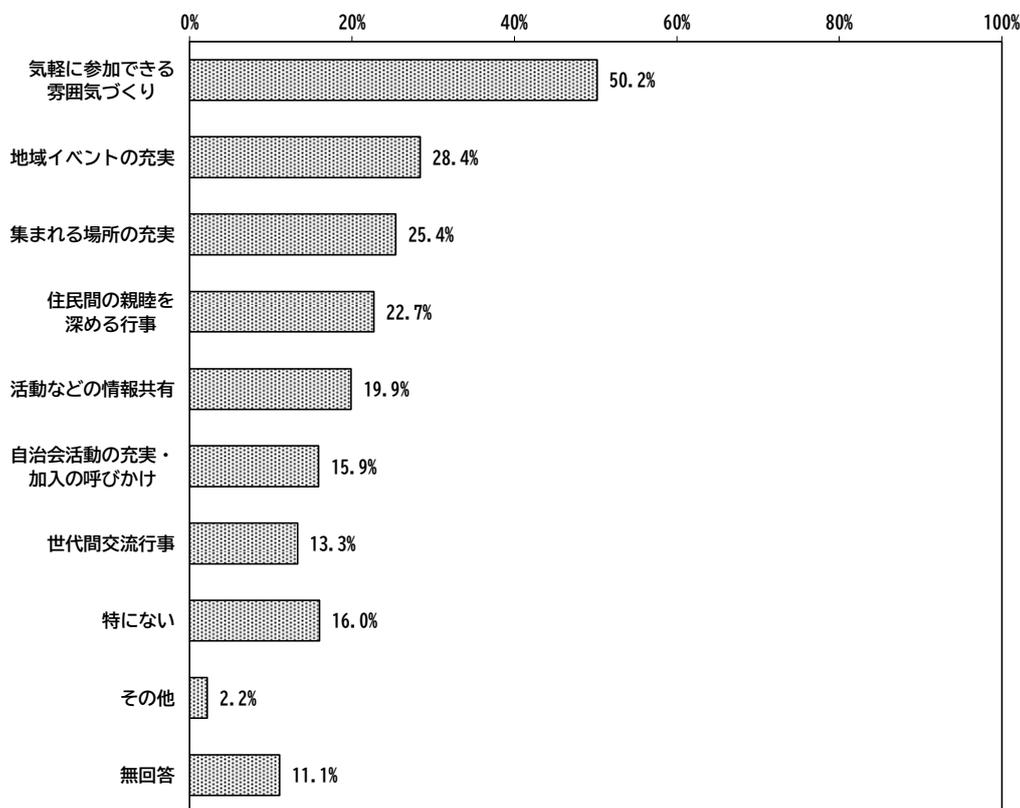
イベントに参加しなくなった理由（居住地別集計）

- ・ 全校区で、「イベントへの参加に魅力を感じなくなったから」が4割以上を占め、最も高い割合となっています。



問17 あなたが地域の交流や地域の絆を深めるために必要な取組について、特に重要と考える取組について、特にあてはまるものを3つまで選んでください。

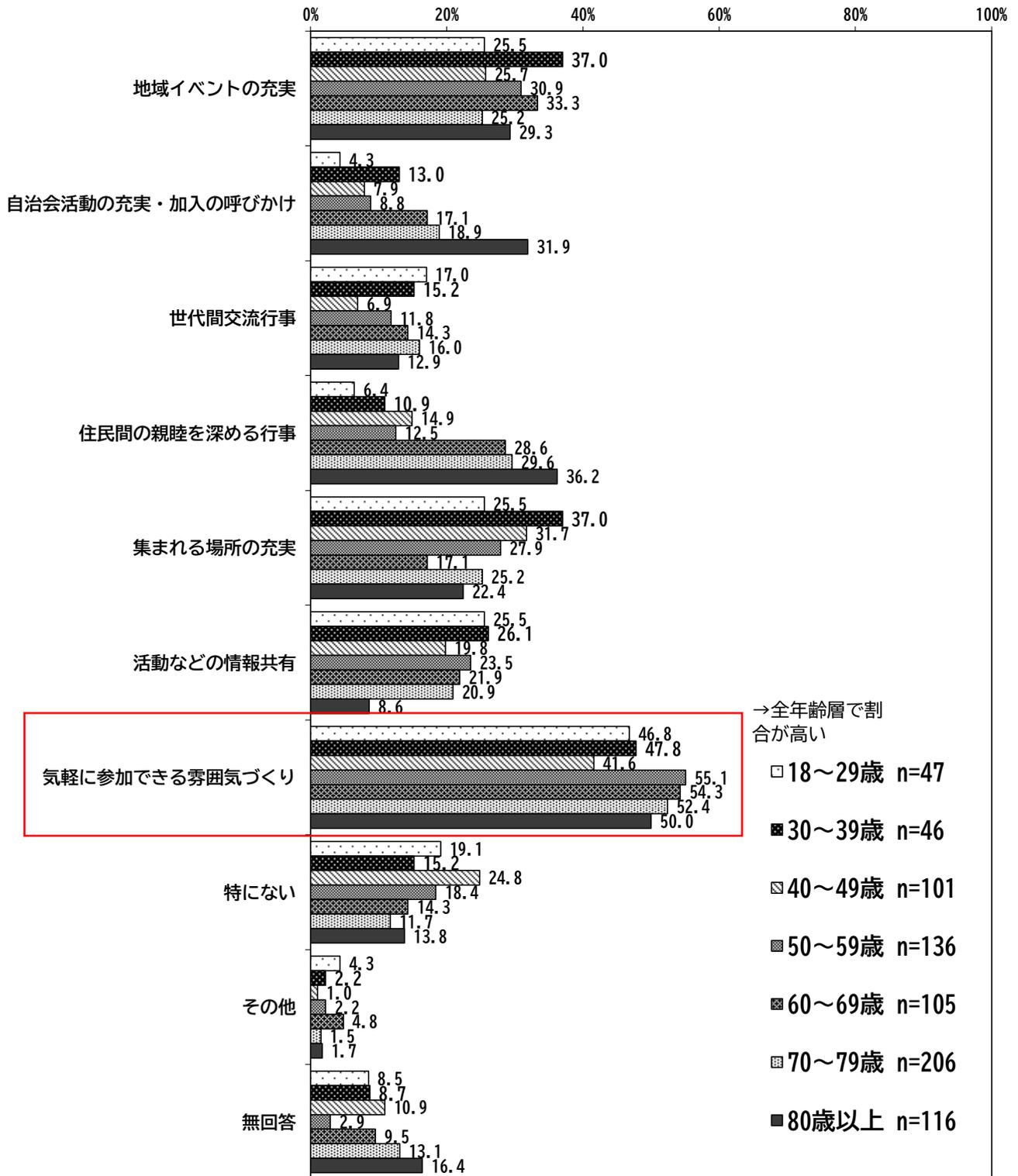
- ・ 「気軽に参加できる雰囲気づくり」の回答が50.2%と最も多く、次いで「地域イベントの充実」が28.4%、「集まれる場所の充実」が25.4%となりました。



No.	選択肢	回答数(n=767)	割合(%)
1	地域イベントの充実	218	28.4
2	自治会活動の充実・加入の呼びかけ	122	15.9
3	世代間交流行事	102	13.3
4	住民間の親睦を深める行事	174	22.7
5	集まれる場所の充実	195	25.4
6	活動などの情報共有	153	19.9
7	気軽に参加できる雰囲気づくり	385	50.2
8	特にない	123	16.0
9	その他	17	2.2
	無回答	85	11.1

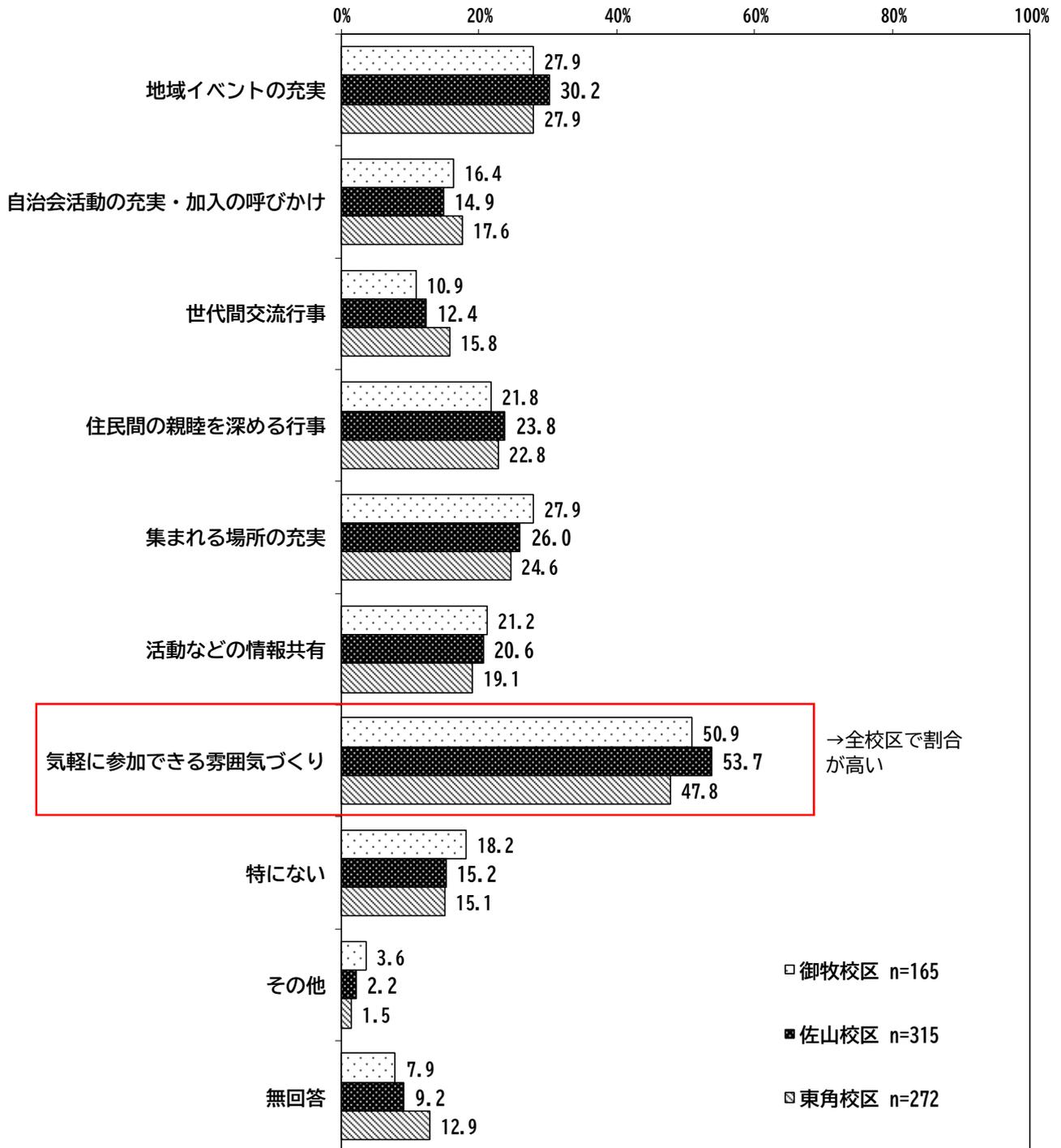
地域の交流や地域の絆を深めるために必要な取組（年齢別集計）

- ・ 全年齢層で、「気軽に参加できる雰囲気づくり」が4割以上を占め、最も高い割合となっています。



地域の交流や地域の絆を深めるために必要な取組（居住地別集計）

- ・ 全校区で、「気軽に参加できる雰囲気づくり」が4割以上を占め、最も高い割合となっています。



## 7 自由意見

- ・ 「公共交通機関の拡充」「鉄道の新設」など、「公共交通」に関連する意見が64件あり最も多く、次いで「地域の住民同士が触れ合えるイベントの実施」「住民同士のサークル活動の充実」など、「コミュニティ・交流」に関連する意見が35件ありました。

大綱	施策	自由記述件数
魅力と個性にあふれた強い産業を育みます	農業	11
	工業	1
	商業・サービス業	16
	中小企業・就労	0
	産業・交流プロモート	12
人と企業が定着したくなる基盤を整えます	計画的土地利用	17
	公共交通	64
	道路	25
	公園・緑地	13
	河川・治水計画	0
	上水道	1
	下水道	1
	自然・環境保全	0
	循環型社会	0
安心して子どもを産み、育てられる環境をつくり ます	子育て支援	20
地域の力を結集した教育を進めます	就学前教育	0
	学校教育	12
人と人がふれあい、尊重し合う心を育みます	社会教育	4
	スポーツ	8
	歴史文化	2
	人権・平和	3
	男女共同参画	0
だれもが住みなれた場所でいきいき暮らせる地域 をつくれます	健康	2
	保健・医療	2
	高齢者福祉	16
	障害者福祉	2
	地域福祉	0
地域ぐるみの安全・安心のまちづくりを進めます	防災・減災	10
	消防（火災・救急・救助）	0
	防犯	16
	交通安全	9
	消費生活	2
地域力を生かした協働のまちづくりを進めます	コミュニティ・交流	35
	住民参加・協働	2
健全で安定した行財政運営を継続します	行財政運営	19
	情報化推進	0